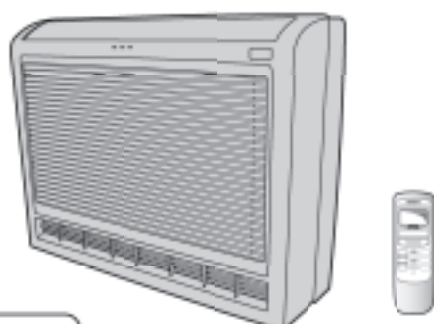
# 日立ルームエアコン

# 取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

## RAF-28SX形
## RAF-28SX2形
## RAF-40SX2形
## RAF-50SX2形

室内機 RAF-28SX形／室外機 RAC-F28SX形
室内機 RAF-28SX2形／室外機 RAC-F28SX2形
室内機 RAF-40SX2形／室外機 RAC-F40SX2形
室内機 RAF-50SX2形／室外機 RAC-F50SX2形

この製品はオゾン層を破壊しない冷媒を使用しています。

インバーター
冷房・暖房
カラッと除湿タイプ
〈セパレート床置形〉

## もくじ

**ご使用の前に**



**基本的な使い方**



**便利な使い方**



**上手な使い方**



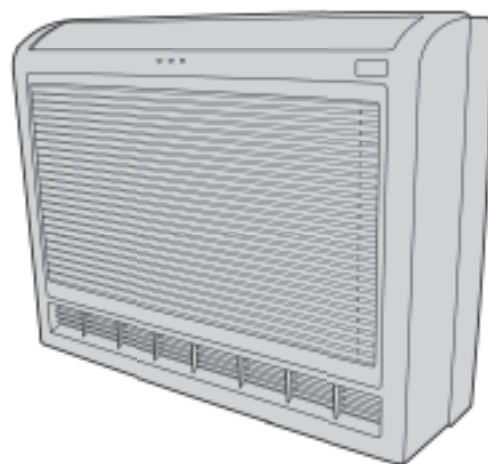
**アフターサービス**



この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになった後は、保証書と共に大切に保存してください。

## はじめに

このルームエアコンは、一般家庭の人を対象とした空調を目的としたものです。食品・動植物・精密機器・美術品・医薬品等の保存など特殊用途には使用しないでください。また、能力以上の負荷で使用しないでください。

# 特長

### [カラッと除湿]

湿度をしっかり下げるカラッと除湿。
快適おまかせ、快速ランドリー、けつろ抑制、40%除湿モードが選べます。

### [上・下2吹出し方式]

暖房時は上吹出しの他に、足元からも温風を吹出します。冷房時も運転開始時には上下から冷風を吹出し、急速冷房します。

### [丸洗いパネル]

汚れが気になる吸い込み口の前面パネルを取り外すことができ、水で丸洗いすることができます。

### [リモコン]

手の平にスッキリ納まり扱いやすい新デザイン。
通常は「運転／停止」ボタンひとつで簡単操作。

### [エアコンクリーン]

エアコン内部を清潔に保つエアコンクリーン機能。エアコン内部のカビやニオイを抑えていつもきれいな空気を届けます。

### [PAM制御]

インバーターエアコンの能力を最大限に引き出します。厳しい寒さの日でもお部屋をしっかり暖めます。

# 安全上のご注意

必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■ 表示と内容を無視して誤った使い方をしていたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 …… | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 |
| ⚠注意 …… | この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

| | | | |
|---|---|---|---|
|  | このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |  | このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。 |

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保存してください。

## 据え付け上の注意事項

### ⚠警告

●**改造は絶対に行わない**
改造を行いますと、水漏れ・故障・感電・火災などの原因になります。

●**据え付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する**
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

●**アース（接地）を確実に行う**
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線などに接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

### ⚠注意

●**設置場所によっては、漏電しゃ断器を取り付ける**
漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電の原因になります。

●**可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へは、設置しない**
万一ガスが漏れて室外機の周囲にたまると、発火の原因になります。

●**除湿水は、確実に排水できるようにする**
排水経路に不備があると、室内・室外機から水が滴下し、家財などを濡らす原因になります。

●**電源は、指定の電源を使用する**
指定電源以外の電源を使うと、電気部品が過熱したり発火の原因になります。

| RAF-28SX | RAF-28SX2<br>RAF-40SX2<br>RAF-50SX2 |
|---|---|
| 単相100V | 単相200V |

## 移設・修理時の注意事項

### ⚠警告

●**異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源プラグを抜き（またはブレーカーを"OFF"にして）お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼する**
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。

●**修理は、お買い上げの販売店または、修理窓口に依頼する**
ご自分で修理をされ不備があると、感電や火災などの原因になります。

●**エアコンを移動・再設置する場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼する**
ご自分で移動・再設置され、不備があると、感電や火災などの原因になります。

# …安全上のご注意（つづき）

使用上の注意事項

## ⚠警告

●**長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎたりしない**
体調悪化や健康障害の原因になります。

●**電源プラグは、ホコリが付着していないか確認し、ガタつきやホコリがたまらないように刃の根元まで確実に差し込む**
ホコリがたまった状態での使用や、接続が不完全な場合は感電や火災などの原因になります。

●**電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線やステップルなどでの固定を行わない また、つっぱらないようにゆとりを持たせて配線する**
感電や発熱・火災などの原因になります。

●**電源コードは、束ねたり、引っ張ったり、物を載せたり、加熱したり、加工したり、物と物の間にはさんだりしない**
電源コードが破損する原因になります。
傷んだまま使用すると、感電や火災などの原因になります。

●**室内・室外機の吹き出し口や吸い込み口をふさいだり、指や棒などを入れない**
内部でファンが高速回転しておりますので、けがや故障の原因になります。
また、性能が低下します。

●**電源プラグの抜き差しにより、エアコンの運転や停止をしない**
感電や火災などの原因になります。

●**安全器のヒューズの代わりに、針金や銅線などを使わない**
故障や火災などの原因になります。

●**落雷のおそれがあるときは、運転を停止し、電源プラグを抜く（またはブレーカーを "OFF" にする）**
落雷の程度によっては、故障の原因になります。

## ⚠注意

●**このエアコンは、一般家庭の人を対象とした空調を目的としたものですので、食品・動植物・精密機器・美術品・医療品等の保存など特殊用途には使用しない**
エアコン自体ならびにこれらの品物の品質低下の原因になります。

●**ぬれた手で、スイッチを操作しない**
感電の原因になります。

●**燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気を行う**
換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になります。

●**エアコンの風が直接あたる所に、燃焼器具を置かない**
燃焼器具の不完全燃焼の原因になります。

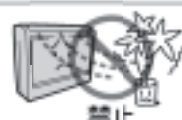
## ⚠注意

**使用上の注意事項**

- **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない**
  コードの内部が断線して、発熱や発火などの原因になります。

- **長期間の使用で、傷んだままの据付台などで使用しない**
  室外機の落下につながり、けがなどの原因になります。

- **エアコンを水洗いしたり、花瓶などの水の入った容器をのせたりしない**
  漏電によって、感電の原因になります。

- **動植物に直接風があたる場所には設置しない**
  動植物に悪影響を及ぼす原因になります。

- **掃除をするときは必ず運転を停止し、電源プラグを抜く（またはブレーカーを"OFF"にする）**
  内部でファンが高速回転しておりますので、けがや故障の原因になります。

- **長期間使わない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く**
  ホコリがたまって発熱や発火などの原因になります。

- **室内機や室外機の上に乗ったり、物を載せたりしない**
  落下や転倒などにより、けがの原因になります。

- **冷房運転時、窓や戸を開放した状態（部屋の湿度が80%を超えたまま）などで長時間運転したり、風向スイング運転で長時間運転をしない**
  上下風向板に露がつき、ときには露が落ち、家財などを濡らす原因になります。

禁止

- **能力以上の負荷（冷房・暖房能力以上の広い部屋や多勢の人が居るなど）で使用しない**
  設定温度に達しないことや、露が落ちて家財などを濡らす原因になります。

- **室内機の洗浄には専門技術が必要なため、お買い求めの販売店に相談する**
  市販の洗浄剤などを使用しますと、樹脂部品の割れや排水経路の詰まりに至ることがあり、水たれや感電の原因にもなります。

- **室外機の吸い込み口や底面、アルミフィンにさわらない**
  けがの原因になります。

- **冷媒配管パイプや接続バルブにさわらない**
  火傷の原因になります。

- **室内機の清掃時には、手袋を着用する**
  けがの原因になります。

- **暖房運転時、空気吹き出し口や室内機の前方50cm以内に家具などの障害物を置かない**
  エアコン自体や家具などが変形する原因になります。

# 各部の名称と働き① (室内機／室外機)

## 室 内 機

表 示 部

上下風向板／左右風向板 (上側吹き出し口)
(☞ 13ページ)

高帯電空清フィルター
(☞ 9 18ページ)

フィルター (内部にあります。)
空気中のチリやホコリなどをキャッチします。
(☞ 9 15ページ)

受 信 部
リモコンからの信号を受信します。

フロントパネル (吸い込み口)
(☞ 9 15ページ)

電源プラグ

リモコン

左右風向板 (下側吹き出し口)
(☞ 13ページ)

## 室内機表示部

タイマーランプ(橙) タイマー予約時に点灯します。(☞ 14 15ページ)

除湿　運転　タイマー

暖房運転時、次の場合に運転ランプが点滅します。(故障ではありません。)

**予熱運転**
運転開始後の2～3分間で室内機の熱交換器を暖めます。

**霜取り運転**
室外機の熱交換器に霜が付くと一旦、暖房運転を停止し、霜取り運転を行います。霜の付き方によって違いますが、およそ10分程かかり、最長時間は20分です。

除湿ランプ(緑)
除湿運転中に点灯します。

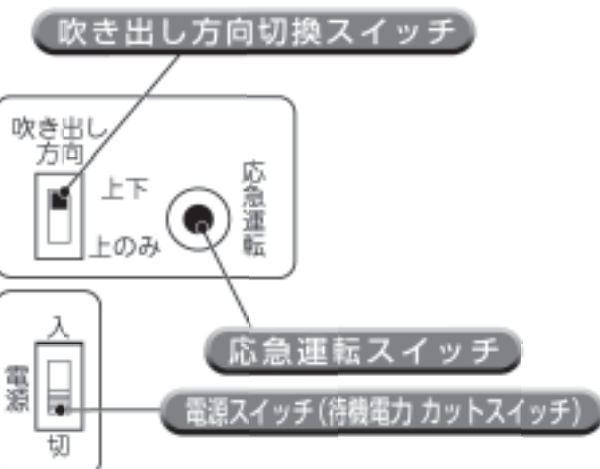
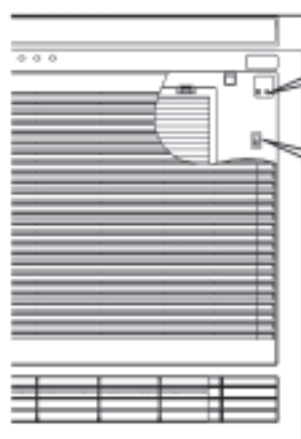
運転ランプ(黄)
運転中に点灯します。

## 室 外 機

### 室外機について

- 運転を「停止」にしても、室外機のファンは電気部品を冷やすために10～60秒間回り続けます。
- 暖房時には、室外機より凝縮水や霜取り時の水が流れ出ます。
  寒冷地ではこれらの水が氷結してしまうこともありますので、室外機に設けてある排水口をふさがないでください。
- 公団吊り等をする場合は、排水口にブッシュとドレンパイプを取り付けて排水処理をしてください。

## 室内機操作部

■ フロントパネルの内側にあります。
（フロントパネルの開きかたは☞9ページ）

⚠注意　長期間使わないときは、電源スイッチを「切」にする。なお、室外機から電源を取っている場合は、必ずブレーカーを切る。

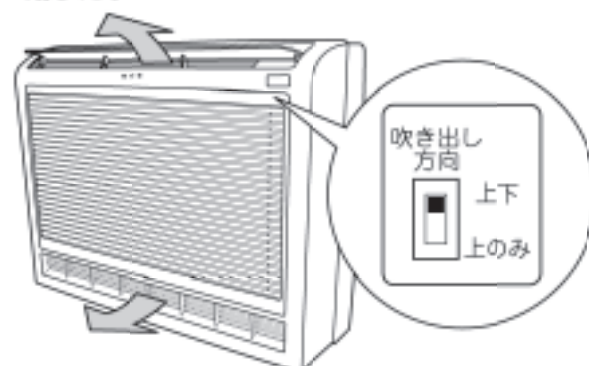
☆電源が入っていると運転していなくても、制御回路内で微少ですが、電気を消費します。
電源スイッチ（室外機より電源を取っている場合はブレーカー）を切ることで、節電効果があります。
☆電池切れなどで、リモコンが使えないとき、応急運転スイッチを押すと、応急運転を行います。
応急運転は、前回の運転内容で運転します。（但し、電源を入れた直後は自動運転を行います。）

## 吹き出し方向切換スイッチについて

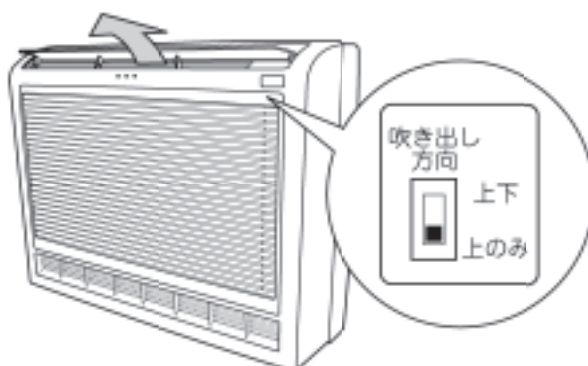
### 吹き出し方向切換スイッチを"上下"にすると

**暖房時**
- 運転開始後、吹き出す風が暖かくなると、下側吹き出し口のダンパーが自動的に開き、下側吹き出し口からも温風を吹き出します。
- 室温が設定温度に達するとダンパーを閉じ、上側吹き出し口からのみ、ごく弱い風を吹き出します。

**冷房時**
- 風速「自動」および「強風」で運転開始時、設定温度と室温の差が大きいと、下側吹き出し口のダンパーが自動的に開き、下側吹き出し口からも冷風を吹き出します。室温が設定温度に近づくと自動的に上側のみ吹き出しになります。

**除湿運転時**
- 除湿効果を高めるため、下側吹き出し口のダンパーは閉じたままとなります。

### 吹き出し方向切換スイッチを"上のみ"にすると

- 暖房時、冷房時とも下側吹き出し口のダンパーが閉じたままとなり、風は上側吹き出し口からのみとなります。
- おやすみになるときなど、下側吹き出し口からの風が顔などにあたるときは、"上のみ"にして、上側だけから吹き出させることができます。

ご使用の前に

# 各部の名称と働き② （リモコン）

## リモコン

■ 運転内容、タイマー予約内容などを室内機に送信します。
☆ 図の液晶表示は、リセットスイッチを押した直後の表示を示します。
本ルームエアコンには無い機能も表示されます。

**運転／停止ボタン**
押すと運転、もう一度押すと停止します。

**エアコンクリーンボタン**
エアコンクリーン運転を開始します。
（☞12ページ）

**タイマー合わせ部**

**切タイマーボタン**
切タイマーの時間を選びます。

**入タイマーボタン**
入タイマーの時間を選びます。

**予約／取消ボタン**
タイマー予約の内容を室内機に予約します。
もう一度押すと、タイマー予約を取消します。（☞14ページ）

**自動風向ボタン**
上下風向板をスイングさせたり、お好みの角度に変えます。（☞13ページ）

送信部

**送信マーク**
送信したとき、点灯します。

**カラッと除湿ボタン**
カラッと除湿運転を開始します。
（☞12ページ）

**運転切換ボタン**
運転の種類を選びます。（☞11ページ）

**室温設定ボタン**
室温を設定します。押し続けると早送りになります。（☞11ページ）

**風速切換ボタン**
風速を選びます。（☞11ページ）

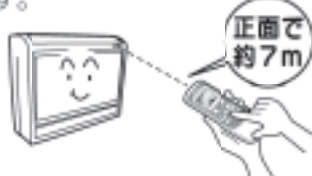
**おやすみタイマー運転ボタン**
おやすみタイマーの運転を開始します。（☞15ページ）

**リセットスイッチ**
電池交換した後や、動作が正常でないときに押してください。

## リモコンの準備

①裏ぶたを開け、乾電池を入れる。
（単4形を2本お使いください。）
②裏ぶたを閉める。
③リセットスイッチを押す。

## リモコンを操作するとき

● **操作は、室内機の受信部に向けて。**
受信できる距離は、正面で約7m。
ただし、室内に電子点灯形の照明器具がある場合は、受信距離が短くなることがあり、場合によっては信号を受け付けないことがあります。

● **リモコンはていねいに扱ってください。**
落としたり、水がかかったりすると送信できなくなる場合があります。
電源を入れた直後の10秒間程度は、リモコン操作をしても信号を受け付けません。

## アドレス切換スイッチについて

**お客様ご自身での操作はしないでください。**

※アドレス切換スイッチは、2台の室内機を同じ部屋に据え付けたときなど、リモコンの混信を防ぎたいときに使用しますので、通常は使用しません。（工場出荷時は「A」側に設定されています。）
なお、設定のしかたについてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

**付属の取付具で柱や壁などに取り付けて使うこともできます。**
事前に受信できることを確かめてから取り付けてください。

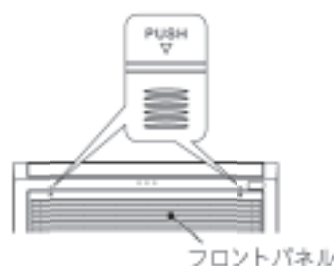
## 乾電池について

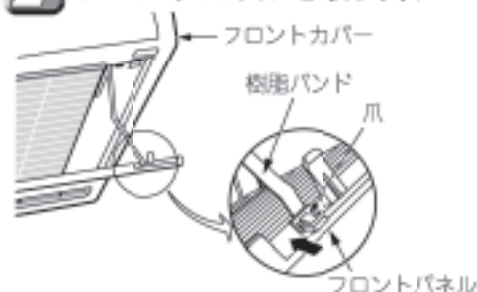
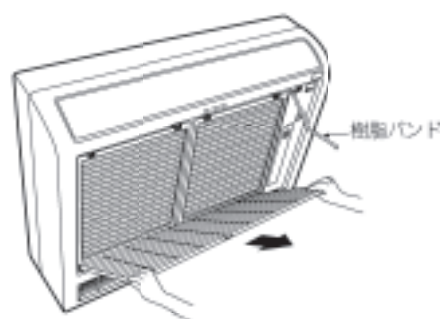
● 乾電池の寿命は、普通の使い方で約1年です。（ただし、乾電池の「使用推奨期限」に近いものは、乾電池の交換が早くなる場合があります。）
付属の乾電池はモニター用です。
● 液晶表示がうすくなったら乾電池を取り換えてください。
● 乾電池を交換した後や、動作が正常でない場合は、必ずリセットスイッチを押してください。
● 乾電池を誤って使うと、液漏れや破裂の危険があります。乾電池の注意文をよく読み、次の点に特に注意してご使用ください。
（1）乾電池の＋（プラス）、－（マイナス）の向きは、器具の表示どおりに正しく入れる。
（2）新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使わない。
（3）長期間（1ヵ月以上）使用しないときは、乾電池を取り出しておく。
万一液漏れしたときは、よく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。

# 高帯電空清フィルターの取り付けをしてください

■ リモコンで運転を停止してから行ってください。
■ フロントパネルの着脱は必ず両手で行ってください。

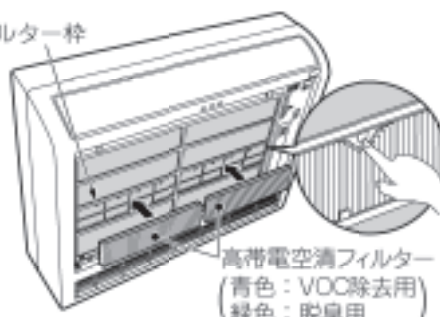


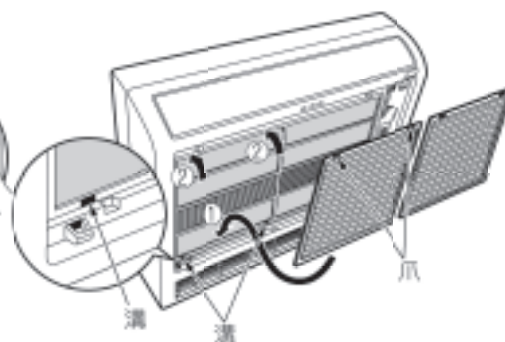
## 1 フロントパネルを開ける

●フロントパネル上部両端にあるPUSH下の「≣」マーク部を押し、フロントパネルを手前に引きます。

## 2 フロントパネルを取り外す

●フロントパネル右内側に付いている樹脂バンド先端の爪を押し、フロントパネルを押さえながら、樹脂バンドを矢印方向に引き抜きます。

●フロントパネルの両側を持ち、上方向に引いてフロンﾄパネルを外します。

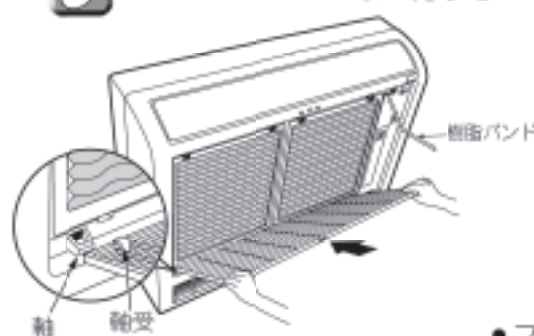
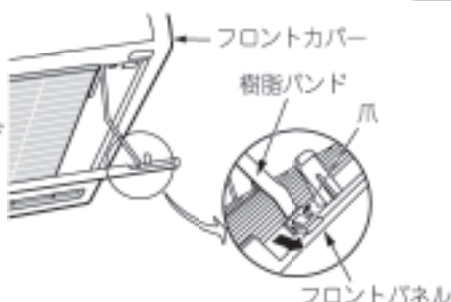
## 3 フィルターを取り外す

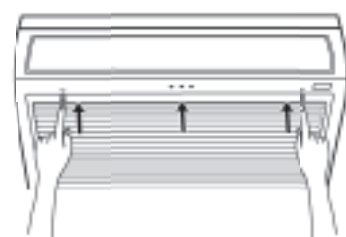
●左右2枚それぞれのフィルター上部両端にある爪を押し下げながら、手前に引き出し持ち上げてフィルターを取り外します。

## 4 高帯電空清フィルターを取り付ける

●高帯電空清フィルターをフィルター枠に収納します。
●高帯電空清フィルター(青色、緑色)は左右どちら側につけても効果は同じです。

## 5 フィルターを取り付ける



●フィルターは上表示のある方を上にして、下部2ヵ所の溝にフィルターの突起部を差し込み、上部2ヵ所の爪を「カチッ」と音がするまで押し込んで取り付けます。

## 6 フロントパネルを取り付ける

●フロントカバーの軸にフロントパネルの軸受3ヵ所を差し込みます。(「≣」マークが上側になるように取り付けます。)

●フロントカバー右上の樹脂バンド先端を矢印方向に押し、フロントパネルの角穴部に差し込みます。(樹脂バンドを矢印と逆方向に引っ張り、爪がかかって抜けないことを確認してください。)

## 7 フロントパネルを閉じる

●フロントパネル上部両端にあるPUSH下の「≣」マーク部を「カチッ」と音がするまで押し付け、最後に中央部を押し、フロントパネルを平らに閉じます。

●フロントパネルが、がたついているとパネルが外れ、落下するおそれがあります。
●フロントパネルを下側におろしたとき、無理に力を入れないでください。フロントパネルが本体から外れたり、故障の原因になります。
●フィルターを外したまま運転しないでください。機械にホコリが入り、故障の原因になります。
●フィルターの取り外し・取り付けの際、熱交換器のフィンで手などを切らないように十分ご注意ください。

# 自動運転をするには

■ 運転開始時の温度によって“暖房”“カラッと除湿”“冷房”の中から、その室温に見合った運転を自動的に行います。（運転のしくみは☞16ページ）

## 1 運転の種類を“自動”に設定する 運転切換

## 2 運転／停止 ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、運転を開始します。

## 停止 運転／停止 ボタンを押す

■ お好みに応じて、室温の微調節と風速の切換えができます。

## 1 室温の微調節

ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、1回押すごとに1℃変化します。
- 自動設定した室温より1℃高い温度に設定すると▲1℃と表示されます。
  自動設定した室温より1℃低い温度に設定すると▼1℃と表示されます。
- 調節できる範囲は、高めに3℃、低めに3℃までです。

## 2 風速の切換え

風速切換 ボタンを押す

- “自動”と“微”“静”が選べます。

基本的な使い方

# 手動運転〔暖房・カラッと除湿 冷房・空気清浄〕をするには

## 1 運転の種類を選ぶ 運転切換

- 暖房・カラッと除湿（リモコンの表示は"除湿"です。）・冷房・空気清浄（表示は"空清"です。）のいずれかを選べます。

## 2 風速のセット 風速切換

- 自動・強・弱・微・静のいずれかを選べます。
（但し、空気清浄運転のときは強・弱・微・静のいずれかを選べます。）
- 風速の表示は、運転を開始しないと、約10秒後に消えます。

## 3 室温のセット

■リモコン設定温度範囲

| | |
|---|---|
| 暖房・冷房 | 16～32℃ |
| カラッと除湿 | 10～32℃ |

- 室温の表示は、運転を開始しないと、約10秒後に消えます。

## 4 運転／停止 ボタンを押す

- "ピッ"という受信音がして、運転を開始します。

## 停止 運転／停止 ボタンを押す

- 次回からは 運転／停止 ボタンを押すだけで、上記 1 ～ 3 でセットした同じ運転ができます。

■ 次の条件のご使用がおすすめです。

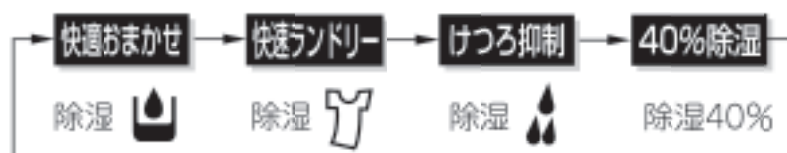
| 暖　房 | カラッと除湿 | 冷　房 |
|---|---|---|
| ●外気温−20℃以上、21℃以下<br>（−20℃以下のときや24℃を超えるときは、機械保護のため、運転しないことがあります。） | ●外気温1℃以上<br>（室温1℃以下では運転しません。） | ●外気温22℃以上 |

# カラッと除湿運転をするには

■ カラッと除湿 ボタンを押すと、4種類の"カラッと除湿"運転が行えます。

（運転のしくみは 18ページ）

## カラッと除湿 ボタンを押す

● "ピッ"という受信音がして、カラッと除湿運転を開始します。押すたびに下のように切換わります。

● お好みに応じて、室温の微調節（ 10ページ）と風速の切換え（ 11ページ）ができます。

● 設定室温は、室温ボタンを1回押すごとに1℃変化します。

（設定できる範囲は、室温に対して高めに3℃、低めに3℃です。）

**停止**  ボタンを押す

# エアコンクリーン運転をするには

■ シーズン初めや終わりのときに、エアコンクリーン運転を行いますと、室内熱交換器に付着したにおいの成分を洗い流し、カビの発生を抑えます。
（発生したカビを除去する働きや、殺菌効果はありません。）

（運転のしくみは 18ページ）

## 停止中に エアコンクリーン ボタンを押す

● "ピッ"という受信音がして、リモコンに「クリーン」が点灯し、エアコンクリーン運転を開始します。

● エアコンクリーン運転中は、室内機表示部の「運転」ランプが点灯します。

● 約1時間の運転を行って自動的に停止します。

● タイマー予約中は設定できません。

**停止** 運転／停止 ボタンまたは  ボタンを押す

# 風向の調節をするには

■ 上下の風向——必ずリモコンで操作してください。
（手で動かすと、故障の原因になります。）

## 自動セット

- 運転の種類に応じた風向に自動的にセットします。
  通常、上下の風向操作は特に必要ありません。

## 上下お好み風向

- 上下の風向をお好みの角度にしたいときは、（風向）ボタンで上下風向板を動かし、お好みの位置になったら、もう一度（風向）ボタンを押して止めてください。
  なお、暖房時は効率よくお部屋を暖めるために、できるだけ水平に近い位置でお使いください。
- ビルトイン据付けの場合は、吐出風がカウンター等の障害物に当たらないように風向を調節してください。
  （ビルトイン状態で上向きにし過ぎるなど、風が障害物に当たると、エアコン収納部分に冷風や、熱風がこもり、室温調節が良く行われなくなることがあります。）
- 運転を停止すると吹き出し口を閉じますが、再び運転すると前回選んだ位置のままでセットされます。
  ただし、電源スイッチを切ったり、電源プラグを抜いた後、運転すると上下風向板は初期値にセットされます。
- 運転を切換えると、運転の種類に応じた風向に自動セットされます。

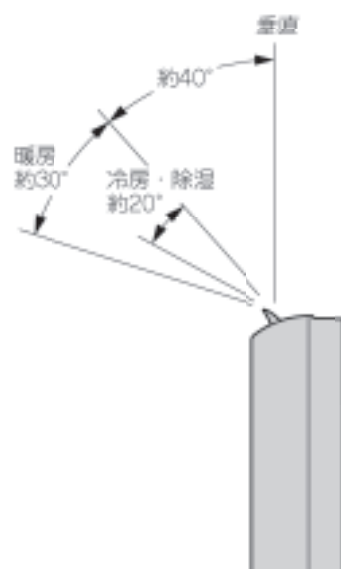
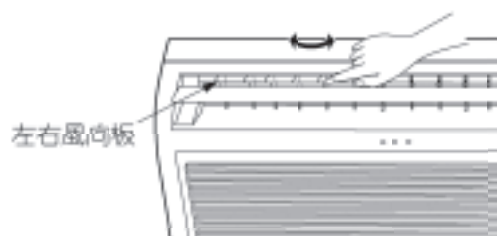
## 上下風向スイング

- （風向）ボタンを押すと、"ピッ"という受信音がして、上下風向板がスイングを繰り返します。
- 運転を停止するとスイングは止まり、吹き出し口を閉じます。
  再び運転すると、運転の種類に応じた風向に自動セットされます。
  （風向板が動き出すまで6秒ぐらい時間がかかることがあります。これは風向板の位置を正しくセットする確認動作のためです。）

**⚠注意**

- 冷房運転時に、長時間スイングにしたまま運転しないでください。
  長時間このような運転をしますと、上下風向板に露が付き、ときには露が落ちて家財などを濡らす原因になることがあります。

■ 左右の風向——手で操作します。

- 図のように、左右の風向を調節します。

# タイマー予約運転をするには

■ タイマーは 切 タイマー、入 タイマーの2種類の使いかたができます。
（● 切 タイマー、入 タイマーは同時に予約することはできません。
● 運転の種類、室温、風速の設定は☞ 10 11 ページをご覧ください。）

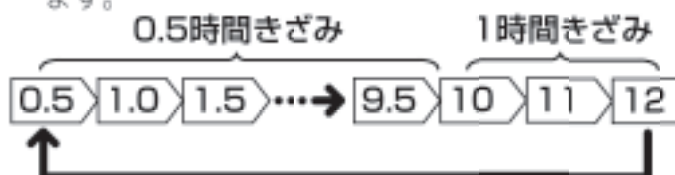
## 切 タイマー予約のしかた

■ セットした時間に運転を停止させます。

### 1 切 時間をセット

● 切 ボタンを押して 切 時間を選びます。
● セット時間は、切 ボタンを押すごとに次の順に変わります。

0.5時間きざみ　　1時間きざみ

0.5 → 1.0 → 1.5 ···→ 9.5 → 10 → 11 → 12 →（0.5に戻る）

● 押し続けると、早送りになります。

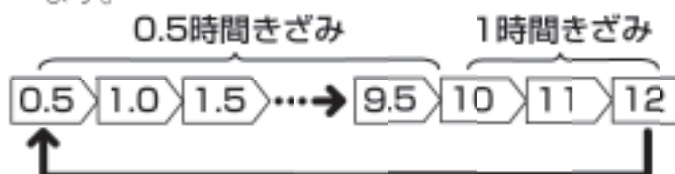
### 2 予約/取消 ボタンを押す

● "ピッ"という受信音がして、切 タイマーが予約されます。
● 切 の点滅が点灯に変わります。

## 入 タイマー予約のしかた

■ セットした時間に設定室温となるよう運転を開始します。
（運転開始時間は、室温、設定室温等、条件により異なります。）

### 1 入 時間をセット

● 入 ボタンを押して 入 時間を選びます。
● 最初の時間設定は、6時間になっています。
● セット時間は、入 ボタンを押すごとに次の順に変わります。

● 押し続けると、早送りになります。

### 2 予約/取消 ボタンを押す

● "ピッ"という受信音がして、入 タイマーが予約されます。
● 入 の点滅が点灯に変わります。

## タイマー予約の取消しかた

### 予約/取消 ボタンを押す

● 一度セットした時間はリモコンが記憶していますので、前回と同じ時間を予約したいときは、予約/取消 ボタンを押すだけで同じ時間が予約されます。

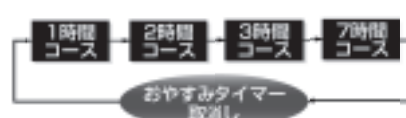
# おやすみタイマー運転をするには

■ "風速"を就寝時に適した運転にし、指定した時間になると運転を停止するおやすみ専用の[切]タイマー運転です。

(★表示は、2時間コース をセットした例です。)

- おやすみボタンを押すだけで、1,2,3,7時間の中からお好みの時間が選べます。

**おやすみ ボタンを押す**

- おやすみ ボタンを押すたびに右のように変わります。

- "ピッ"という受信音がして、おやすみ運転を開始します。
  リモコンの表示部に、おやすみタイマーの予約時間が表示されます。
- カラッと除湿運転は最初の時間設定が異なります。快速ランドリーモードは3時間、けつろ抑制モードは2時間となっています。

**取消し** おやすみ ボタンを押して取消すか、または 予約/取消 ボタンを押す

**1hモアタイマー運転**

- おやすみタイマーが切れた後でも、最長4時間、お部屋の温度を見張り、室温が2℃上昇するともう1時間だけ自動的に運転します。見張っている間は、室内機のタイマーランプが点灯しています。(冷房・カラッと除湿運転時)(7時間コースを除く)

# お手入れ (フィルター・フロントパネル)

■ フロントパネルは丸洗いOK。清潔にお使いいただけます。

- フロントパネルは、取り外して丸洗いできます。
  やわらかいスポンジのようなもので洗い、中性洗剤を使った場合はよく水洗いをしてください。
- 水気をよく拭き取ってください。
  表示部に水気が残っていると故障の原因になります。
- フロントパネルを洗わないでお手入れする場合は、本体・リモコンなどとともに、やわらかい布で、から拭きしてください。
  化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

**⚠警告**

お手入れの前には、リモコンで運転を停止して、電源プラグを抜く
(またはブレーカーを"OFF"にする)

■ 必ずフィルターのお掃除を。電気代の節約にもなります。

**1 フロントパネルを開け、フィルターを取り出す**

(フロントパネルの開閉のしかた ☞ 9ページ)

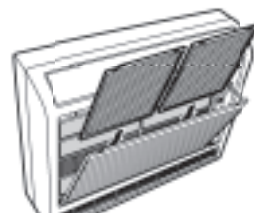
**⚠注意**

- 本体に水をかけない　感電の原因になります。
- エアコン内部の清掃をする場合には、お買い求めの販売店に相談する(☞ 28ページ)

**2 掃除機でホコリを吸い取る**

- フィルターの汚れがひどく掃除機で取れないときは、中性洗剤で洗ったあと、よく水洗いをして、陰干ししてください。
- 高帯電空清フィルターは使い捨てです。

**3 フィルターを取り付ける**

- フィルターは「上」表示のある方を上にして取り付けてください。
- フィルターを外したまま運転しないでください。機械にホコリが入り、故障の原因になります。

■ 長期間(1ヵ月以上)使わないときは、次の手順でお手入れを。

**1 室内機の内部を乾かす。**

- エアコンクリーン運転をしてください。
  (☞ 12ページ)
  内部がぬれたままで長期間使わないとカビが発生しやすくなります。

**2 電源スイッチを"切"にして、電源プラグを抜く。または、ブレーカーを"OFF"にする。**

**3 リモコンの乾電池を取り出す。**

便利な使い方

# 運転のしくみ

## 自動運転のしくみ

| | |
|---|---|
| 暖　房 | ●外気温が約20℃以下のとき、暖房運転を行います。<br>●設定温度を約23℃前後として運転します。 |
| カラッと除湿 | ●外気温が約20℃～25℃のとき、「カラッと除湿」運転を行います。<br>●23℃～27℃を設定温度として運転します。<br>「カラッと除湿」運転の「快適おまかせ」と同じ運転を行います。 |
| 冷　房 | ●外気温が約25℃以上のとき、冷房運転を行います。<br>●設定温度を約27℃前後として運転します。 |

※上記の外気温の値は、運転の種類を決定する目安ですが、室温によっては多少変化することがあります。
※運転中に室温や外気温が変化しても、運転の種類は切り換わりません。
※「カラッと除湿」の設定になった場合に、お部屋の湿度があまり高くないときは、運転しないことがありますが、これは故障ではありません。

## 風速 自動 について

| | |
|---|---|
| 暖 房 時 | ●吹き出す風の温度に応じて自動的に風速が変わります。<br>●設定温度になると、ごく弱い風になります。 |
| 冷 房 時 | ●運転開始時に、室温と設定温度の差が大きいとき、"強風"運転します。<br>●設定温度に到達すると"弱風"に切換わります。 |
| カラッと除湿 | ●設定温度を室温より低く設定したときは、"弱風"で、高く設定したときは"微風"になります。 |

## カラッと除湿運転のしくみ

| 運転の種類 | このようなときに | 運転のしくみ |
|---|---|---|
| 快適おまかせ | ●ジメジメするとき<br>●冷房のかわりに | ●ボタンを押したときの室温をほぼ設定温度とします。<br>（室温12℃以下は13℃、13℃～22℃は室温＋2℃、23℃～27℃は室温、28℃以上は28℃）<br>●目標湿度は、約50～60％です。目標湿度前後まで下がれば、運転を停止します。上がれば運転を再開します。 |
| 快速ランドリー | ●洗濯物の乾燥を早めたいとき | ●外気温、室温を検知して暖房と除湿の最適な組み合わせを自動的に選んで運転します。<br>●洗濯物の乾燥を優先して運転を行います。<br>室温・湿度が一時的に上がりますので、お部屋に人がいないときにお使いください。<br>●3時間のタイマーになっています。 |
| けつろ抑制 | ●冬、窓にできる結露を抑制したいとき | ●結露を抑えるため、湿度を下げる運転を最優先しますので、室温は下がります。室温1℃以下になると運転を停止します。<br>●2時間のタイマーになっています。 |
| 40% 40%除湿 | ●もう少し湿気を取りたいというとき | ●湿度約40％を目標に、強力除湿運転を行います。 |

●在室人数、部屋の条件、室外の温度によっては、設定温度を変えても設定温度に到達しないことや、目標湿度にならないことがあります。

## エアコンクリーン運転のしくみ

●最初に冷房運転で、室内熱交換器に付着したにおいの成分を洗い流し、続いて、除湿運転・暖房運転・送風運転を行い、室内機内部のカビの発生を抑えます。
●エアコンを運転中、タイマー予約中は設定できません。
●外気温が低い場合は、冷房運転・除湿運転を行わないことがあります。

# 知っておいていただきたいこと

## 各部の名称と働き

（☞ 6 7 8）

**暖房の能力について**

- このルームエアコンは、外気の熱を吸収して室内に運び込むヒートポンプ暖房を行いますので、外気温が下がるにつれて暖房能力は低下します。この場合はインバーターの働きで、圧縮機の回転数を上げて能力の低下を防ぎますが、それでも暖まりの悪いときは、他の暖房器具との併用をお勧めします。

**ご注意**

ストーブなど、高温になるものは、室内機の近くでは使わないでください。

- エアコン暖房は、部屋全体を暖める暖房ですので、暖かく感じるまで少し時間がかかります。タイマーで早めに運転しておくことをお勧めします。(☞14ページ)

**冷房・カラッと除湿の能力について**

- 室内に冷房能力以上の熱源(多くの人が居る·熱器具を使う)がありますと、"設定温度"に到達しないことがあります。
- 室内に除湿能力以上の熱源及び湿気の侵入、発生がありますと"目標湿度"に到達しないことがあります。

## 手動運転をするには 自動運転をするには

（☞ 10 11）

- 手動運転で運転を開始する前のリモコン操作で、風速·室温をセットした後、ボタンをはなすと、約10秒後にそれらの表示が消え、運転の種類だけの表示になります。
- 運転中に 運転 ボタンを押すと、保護回路が働いて約3分間運転しません。
- 暖房運転時、室内機の運転ランプが点滅し、しばらく風が出ないことがあります。(☞6ページ)
- 暖房の風速"強"運転時、風が冷たく感じる場合や部屋が暖かくなった後に静かな運転を行いたい場合は、風速"自動"でお使いになることをお勧めします。
- 風速"微""静"運転時は、能力が少し低下します。
- カラッと除湿運転時には、室外ファンが低速運転または停止することがあります。
- 暖房運転の風速"微""静"では、運転条件によって、風速が変化することがあります。

## カラッと除湿運転をするには

（☞ 12）

- すでに結露した露を除去する効果はありません。(けつろ抑制運転)
- 洗濯物の量や材質によっては、乾きが遅くなる場合があります。(ランドリー運転)
- 外気温が低いときに、けつろ抑制運転を行うと、室温が下がりますので注意してください。
- カラッと除湿(快適おまかせ、ランドリー、けつろ抑制運転)運転中は、切入タイマー予約(☞14ページ)はできません。ただし、快適おまかせ運転は おやすみ ボタンを使って、1,2,3,7時間のおやすみタイマーが設定できます。また、ランドリーは3時間、けつろ抑制運転は2時間の切タイマー時間があらかじめ設定されていますが、おやすみ ボタンを押すと、1,2,3,7 時間連続運転のいずれかに変えることができます。
- 切入 タイマーを予約しているときに、 カラッと除湿 ボタンを押すと、 切入 タイマーは解除されて、カラッと除湿運転を開始します。
- 除湿しながらお好みの湿度に設定したい場合には、手動運転の「カラッと除湿」をお勧めします。(☞11ページ)

## タイマー予約運転をするには おやすみタイマー運転をするには

（☞ 14 15）

- タイマー予約したときにリモコンの送信をエアコンが受信しないと、タイマー時間がきても、エアコンは動作しません。室内機の受信音と室内機のタイマーランプで、タイマー予約したことを確認してください。(☞6ページ)
- 切入 タイマー予約中に おやすみ ボタンを押すと、おやすみタイマー運転が優先されます。
- おやすみタイマー予約中は、切 タイマーおよび 入 タイマーが予約できません。
- おやすみタイマー運転では風速が"静"になります。
- 1h(ワン)モアタイマーの4時間の室温監視中はタイマーランプが点灯します。
- 暖房運転では1h(ワン)モアタイマー運転は行いません。
- 冷房、カラッと除湿の7時間設定時は1h(ワン)モアタイマー運転は行いません。
- 1、2、3時間のタイマーが切れてから1時間の間は室温が上昇しても1h(ワン)モアタイマーによる再運転は行いません。

知っておいていただきたいこと

# 上手な使い方

## 「適切な室温」が、からだにも家計にもグッド。

- 冷やし過ぎたり、暖め過ぎないようにしてください。健康上好ましくないうえ、電気代もムダになります。
- 窓のカーテンやブラインドを閉めれば、熱の出入りを抑えて、電気をより有効に使えます。

## ときどき、お部屋の空気を入れ換えてください。

**注意** 燃焼器具と同時に使うときは、必ず換気を行う

## おやすみになるとき、外出するとき、タイマーの有効利用を。

（タイマーの使いかたは 14～15ページ）

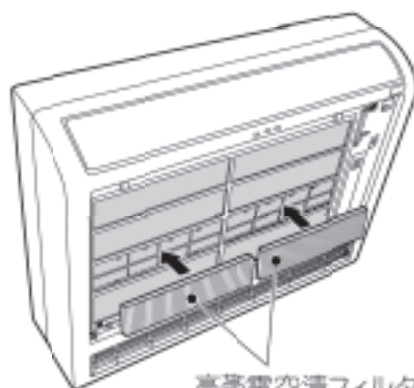
## 次のものは使わないで！（室外機も同様）

- ベンジン、シンナー、みがき粉などは、塗装面やプラスチック部品を傷めます。
- 40℃以上のお湯も使わないでください。フィルターが縮んだり、プラスチック部品が変形することがあります。

## 吸い込み口・吹き出し口はふさがないで！

- 室内・室外機の吸い込み口や吹き出し口をカーテンや他の障害物でふさがないでください。性能が低下するばかりか、故障の原因になります。

## 高帯電空清フィルターは、使い捨てです。1年を目安にお取り換えをお勧めします。

- 取り換え用空清フィルターは必ず高帯電空清フィルター（別売）をご使用ください。お買い求めの際は、販売店にご相談ください。

高帯電空清フィルター

### リモコンの点検

■ 新しい乾電池と交換しても動作が正常でない場合は、リモコンの点検をしてください。

〔AMラジオでの点検〕

（AMラジオの電源を入れた状態で、リモコンを操作したとき、信号音（ピーピー音）が入れば正常です。）

# 故障かな?と思ったら

## ■ サービスを依頼する前に …次のことをお調べください。

| | | |
|---|---|---|
| 送信しない（リモコンの表示がうすい・表示がでない） | ①リモコンが電池切れになっていませんか? | 8ページ |
| | ②乾電池の⊕⊖が逆になっていませんか? | 8ページ |
| 運転しない | ①電源スイッチまたは、漏電しゃ断器が"切"になっていませんか? | 7ページ |
| | ②電源プラグが差し込まれていますか? | — |
| | ③ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか? | — |
| | ④停電ではありませんか?（停電後は運転が停止したままとなります。） | — |
| よく冷えない<br>よく暖まらない | ①フィルターにホコリが詰まっていませんか? | 15ページ |
| | ②"設定温度"のセットは適正になっていますか? | 11ページ |
| | ③上下風向板は、運転内容に合った正しい位置になっていますか? | 13ページ |
| | ④室内・室外機の吹き出し口や吸い込み口を障害物などでふさいでいませんか? | — |
| | ⑤風速が"微""静"になっていませんか? | 11ページ |

## ■ これは故障ではありません。

| | |
|---|---|
| 暖房運転時、運転ランプが点滅している | **予熱・霜取り運転を行っているためです。** |
| 「シュルシュル」「シャー」「ボコボコ」「プシュ」という音 | 冷凍液がパイプの中を流れる音と、流れの方向を切り換えるときの弁の音です。 |
| 「キシキシ」という音 | 温度変化でエアコン自体が膨張・収縮する音です。 |
| 「パサパサ」という音 | 運転開始時など、室内ファンの回転数が変わるためです。 |
| 「カタカタ」という音 | 電源投入時、電動弁が作動するときの音です。 |
| 「ポコポコ」という音 | 換気扇等により排水ホース内の空気が吸引され、露受皿の除湿水を吹き上げるときの音です。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。 |
| 運転音が変わる | 室温の変化に応じて、運転パワーが変わるためです。 |
| 霧が出る | 室内の空気がエアコンの冷気で急速に冷やされて霧になるためです。 |
| 室外機から湯気が立つ | 霜取り運転で解けた水が蒸発するためです。 |
| においがする | 室内の空気に含まれているタバコ・化粧品・食品などいろいろなにおいがエアコンに付着し、これが吹き出すためです。 |
| "停止"にしても運転ランプが点滅し、室外機が動いている | オートフレッシュ除霜（"暖房"を停止するとマイコンが室外機の霜付き状態をチェックし、必要に応じ自動霜取り運転を指令する機能）が働いているためです。 |
| 設定温度にならない | 在室人数や室内、室外の条件や、同時に何室か運転している場合は、他室の影響を受けて、リモコンの設定温度と実際の室温に若干のズレが生じる場合があります。 |

- 以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときや右のような現象が出たときは、電源プラグを抜き（またはブレーカーを"OFF"にして）、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。
  アフターサービスについては20ページをご覧ください。

### こんなときは、すぐ販売店へ。

- ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。
- スイッチの動作が不確実。
- 誤ってエアコン内部に異物や水を入れてしまった。
- コードの過熱やコードの被覆に破れがある。
- 室内機表示部のタイマーランプまたは、除湿ランプが点滅している。
  （点滅回数で故障原因がわかりますので、電源プラグを抜く前に点滅回数をご確認の上ご連絡ください。）

# 保証とアフターサービス 必ずお読みください。

## 保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

**保証期間**

**お買い上げの日から1年間です。**
（ただし、冷凍サイクル部分は5年間です。）
なお、保証期間中でも有料になることがありますので保証書をよくお読みください。

## 補修用性能部品の保有期間

**エアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。**
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

## ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「一般ご相談窓口」（☞ 裏ページ）の担当地域にお問い合わせください。

## 修理を依頼されるときは（出張修理）

**18ページにしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いて（またはブレーカーを"OFF"にして）から、お買い上げの販売店にご連絡ください。**

■ **ご連絡していただきたい内容**
アフターサービスをお申しつけいただくときは、下のことをお知らせください。

| 品名 | 日立ルームエアコン |
|---|---|
| 形式 | RAF-28SX　RAF-40SX2<br>RAF-28SX2　RAF-50SX2 |
| お買い上げ日 | 年　月　日 |
| 故障状況 | できるだけ具体的に |
| ご住所 | 付近の目印等も併せてお知らせください。 |
| お名前 | |
| 電話番号 | （　　）　－ |
| 訪問希望日 | |

※形式は保証書にも記載されています。

■ **保証期間中は**
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

■ **保証期間が過ぎているときは**
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■ **修理料金のしくみ**
**修理料金 ＝ 技術料 ＋ 部品代 ＋ 出張料**
などで構成されています。

| | |
|---|---|
| 技術料 | 故障した商品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器など設備費、一般管理費などが含まれます。 |
| 部品代 | 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。 |
| 出張料 | 商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。 |

## 再据付工事のお申し込みは

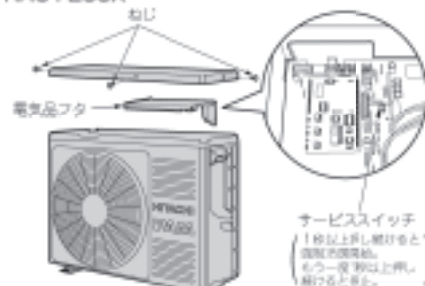
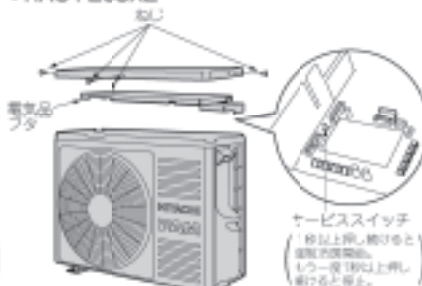
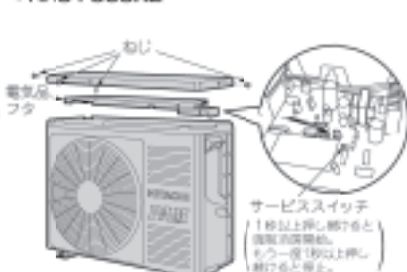
販売店に再据付工事（転居または別の部屋への移設）を依頼する場合は、据付工事の繁忙期に当たる夏期は工事が遅れぎみになりますので、できるだけ避けるようお願いいたします。また、据付工事は専門の技術が必要です。費用など詳しいことは、お買い求めの販売店にご相談ください。

## 強制冷房運転 （販売店で行う操作です。）

■ **室外機のサービススイッチをONさせると強制冷房になります。故障診断や室外機の冷媒を回収するときに使用してください。**

- 一度電源を切り、再度電源を入れて1分以上待ってからサービススイッチを押してください。
- サービススイッチでの作業が終了したら、必ずスイッチを1秒以上押し続けて、強制冷房運転を止めてください。

⚠ **注意** **サービスバルブのスピンドルを閉めた状態で5分以上運転しない**

保証とアフターサービス

# 据え付けについて

**⚠警告**

- **据付工事や電気工事は専門の技術が必要なため、販売店に依頼する**
  費用など詳しいことは、お買い求めの販売店にご相談ください。
- **据付場所については、販売店とよく相談して決める**
- **アース（接地）を確実に行う**
  感電防止のほか静電気の障害や雑音を防ぐ効果もあります。

## 据付場所

- 室内機およびリモコンは、テレビやラジオ、ラジオのアンテナから1m以上離してください。
  1m以上あっても受信感度の弱い場合は、雑音が小さくなるまで離してください。

- 海浜地区で潮風が直接当たる場所や温泉地帯、油煙の多い所、電磁波を発生する病院や作業場、粉末や塵埃の多い工場など、周辺環境が特殊な場所でご使用になる場合は、お買い上げの販売店とよく相談してください。

**⚠注意**

- **除湿水排水ホースから除湿水が出るため、水はけのよい場所を選ぶ**
- **可燃性ガスの漏れるおそれのある場所や、蒸気・油煙などの発生する所で使わない**
  引火や爆発のおそれがあります。
- **特殊な用途（例えば電子機器や精密機器の維持、食品・毛皮・美術骨董品の保存、生物の培養・栽培飼育など）には使用しない**　ルームエアコンは日本工業規格（JIS　C9612）に基づき、一般の家庭でご使用いただくために製造されたものです。

## 電源について

- 電源は配電盤からエアコン専用に引いた回路をお使いください。

## アースについて

**⚠警告**

- **万一漏電したときの感電防止のために、アース（接地）を確実に行う**
  アース工事は「電気設備に関する技術基準」に従って行ってください。
  アース（接地）を行うと、感電防止のほかに製品に触れたときに感じる静電気の障害や、リモコン操作時にテレビ、ラジオに入る雑音を防ぐ効果もあります。
  詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- **次のような場所にアース線を接続しない**
  **①水道管**
  **②ガス管**…爆発のおそれがあります。
  **③電話線のアースや避雷針**…落雷のとき大きな電流が流れ危険です。
- **漏電しゃ断器を設置する**
  据付場所によっては、D種接地工事のほかさらに漏電しゃ断器を設置することが法律で義務づけられています。
  詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

### 積雪について

- 室外機の吸い込み口や吹き出し口が雪でふさがれますと、暖まりにくくなったり故障の原因になったりします。積雪地では防雪の処置をお願いします。
  詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

### 騒音にもご配慮を

- 据え付けにあたっては、エアコンの重量に十分耐える場所で、騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
- 室外機の吹き出し口からの冷・温風や騒音が、隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- 室外機の吹き出し口付近に物を置きますと、機能低下や騒音増大のもとになりますので、障害物は置かないでください。
- エアコンを使用中に異常な音にお気づきの場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

# 定期点検

■ 半年～1年に一度、定期的に次の点検を行ってください。もし、ご不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

## コンセント

● 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？

**⚠警告** 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていなかったり、熱くなっていたりすると、感電や火災などの原因になります。

● 電源プラグにホコリの付着や汚れなどがある場合は掃除をしてから電源プラグを差し込んでください。

## アース線

● アースが確実に行われていますか？

**⚠警告** アース（接地）が正しく接続されているかを確認する
アース線が外れたり、途中で切れたりすると、誤動作や感電などの原因になります。

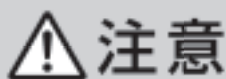
## 据付台

● 据え付けが不安定になっていませんか？

**⚠警告** 据付台が極端に錆びている、あるいは室外機が傾いたりしていないかを確認する
室外機が倒れたり、落下したりして、けがなどの原因になります。

**点検整備** …エアコンを数シーズン使いますと、内部が汚れ、性能が低下することがあります。

**⚠注意** 通常のお手入れと別に点検整備を行う
室内機の内部にゴミやホコリがたまって、除湿水の排水経路を詰まらせ室内機から水たれを発生させることがあります。

● 通常のお手入れと別に、点検整備をお勧めします。

**⚠注意** 点検整備は、お買い求めの販売店に依頼する
点検整備には専門技術を必要とします。市販の洗浄剤などを使用しますと、樹脂部品の割れや排水経路の詰まりに至ることがあり、水たれや感電の原因にもなります。

● 点検整備は、お買い求めの販売店にご相談ください。

# お客様ご相談窓口／仕　様

## 日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
TEL 0120−3121−68
FAX 0120−3121−87

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL 0120−3121−11
FAX 0120−3121−34

**一般ご相談窓口**　家電品についてのご意見やご要望は各地区の お客様相談センター へ

| 担当地域 | 電話番号 | 所在地 |
|---|---|---|
| 北海道地区 | ０１１−８３３−５０８８ | 札幌市白石区東札幌２条４−１−１０ |
| 東北地区 | ０２２−２３２−５０８８ | 仙台市宮城野区扇町１−１−４５ |
| 関東・甲信越地区 | ０３−３８３４−８５８８ | 台東区東上野２−７−５（日立家電上野ビル） |
| 中部地区 | ０５２−７９５−５０８８ | 名古屋市守山区川宮町５５(日立家電守山ビル) |
| 関西地区 | ０７８−４３１−５０８８ | 神戸市東灘区甲南町１−３−８ |
| 中国地区 | ０８２−２３１−５０８８ | 広島市西区観音新町１−７−１７ |
| 四国地区 | ０８７７−４７−１０８８ | 坂出市林田町４２８５−１４３ |
| 九州・沖縄地区 | ０９２−２８１−５０８８ | 福岡市博多区店屋町７−１８（博多渡辺ビル） |

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

## 仕　様

| 形名 | | 室内機 RAF-28SX | 室外機 RAC-F28SX | 室内機 RAF-28SX2 | 室外機 RAC-F28SX2 | 室内機 RAF-40SX2 | 室外機 RAC-F40SX2 | 室内機 RAF-50SX2 | 室外機 RAC-F50SX2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 電源（V） | | 単相100 | | 単相200 | | | | | |
| 定格周波数（Hz） | | 50・60共用 | | | | | | | |
| 冷房能力（kW） | | 2.8 | | 2.8 | | 4.0 | | 5.0 | |
| 中間冷房能力（kW） | | 1.5 | | 1.5 | | 2.0 | | 2.4 | |
| 冷房面積の目安（m²） | 鉄筋アパート南向き洋室 | 19 | | 19 | | 28 | | 34 | |
| | 木造南向き和室 | 13 | | 13 | | 18 | | 23 | |
| 暖房標準能力（kW） | | 4.0 | | 4.0 | | 6.0 | | 6.7 | |
| 中間暖房標準能力（kW） | | 2.0 | | 2.0 | | 2.9 | | 3.3 | |
| 暖房面積の目安（m²） | 鉄筋アパート南向き洋室 | 18 | | 18 | | 27 | | 30 | |
| | 木造南向き和室 | 15 | | 15 | | 22 | | 24 | |
| 運転電流（A） | 冷房 | 6.9 | | 3.3 | | 5.8 | | 9.4 | |
| | 暖房 | 9.3 | | 4.7 | | 8.3 | | 9.3 | |
| 消費電力（kW） | 冷房 | 0.650 | | 0.650 | | 1.150 | | 1.860 | |
| | 中間冷房 | 0.265 | | 0.265 | | 0.390 | | 0.500 | |
| | 暖房標準 | 0.925 | | 0.925 | | 1.650 | | 1.850 | |
| | 中間暖房標準 | 0.370 | | 0.370 | | 0.540 | | 0.630 | |
| 運転音（dB） | 冷房 | 37 | 44 | 37 | 44 | 42 | 49 | 45 | 50 |
| | 暖房 | 39 | 46 | 39 | 46 | 43 | 50 | 44 | 50 |
| 外形寸法(mm)(高さ×幅×奥行) | | 600×750×215 | 570×750×288 | 600×750×215 | 570×750×288 | 600×750×215 | 600×792×299 | 600×750×215 | 600×792×299 |
| 製品質量（kg） | | 16 | 36 | 16 | 36 | 16 | 42 | 16 | 42 |

- この仕様表は、JIS（日本工業規格）にもとづいた数値です。
- 運転停止中の消費電力は、RAF-28SX2のみ6.0Wで、その他は1.0Wです。（電源スイッチまたはブレーカーOFF時は0W）

## 主な付属部品

| 部品名 | 員数 | 備考 |
|---|---|---|
| リモコン | 1 | 型式：RAR-2V3 |
| リモコン取付具 | 1 | |
| リモコン取付具固定ねじ | 2 | |
| リモコン用乾電池（単4） | 2 | モニター用電池のため、乾電池の交換が早くなる場合があります。 |
| 高帯電空清フィルター | 1 | 約1年ご使用になれます。 |

## 主な別売部品

| 部品名 | 型式 | 備考 | 希望小売価格 |
|---|---|---|---|
| 高帯電空清フィルター  | SP-VCF3 | 1セットで約1年ご使用になれます。 | 1,500円 税別 |
| かんたんリモコン  | SP-RC1 | ふだんよく使うボタンだけを集めたシンプルで使いやすいリモコンです。 | 4,000円 税別 |

●商品によっては品切れ、仕様変更の場合がございますので、販売店にお問い合わせください。

## 愛情点検

●長年ご使用のエアコンの点検をぜひ！

このようなことはありませんか
- コゲ臭いにおいがする。電源コード、プラグが異常に熱い。
- 運転音が異常に高くなる。
- 室内機から水漏れがする。
- 漏電しゃ断器がひんぱんに落ちる。
- その他の異常や故障がある。

電源スイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いて（またはブレーカーを"OFF"にして）必ず販売店に点検・修理をご相談ください。
費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

廃棄時にご注意願います。
2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのエアコンを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

## お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入しておいてください。
サービスを依頼されるときに便利です。

| お買い上げ日 | 年　月　日 | 形名 | |
|---|---|---|---|
| 購入店名 | 電話　（　　） | | |

日立 ホーム&ライフソリューション株式会社
〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話（03）3502-2111

# HITACHI
# 日立ルームエアコン据付説明書

●据付工事前にお読みになり正しく据え付けてください。
●お客さまに操作方法を取扱説明書でよく説明してください。

| 室内機 | | 室外機 |
| --- | --- | --- |
| RAF-40SX2形 | ＋ | RAC-F40SX2形 |
| RAF-50SX2形 | ＋ | RAC-F50SX2形 |

**据付情報** ●ＨＡシステムへ接続するには、機種専用別売のHA接続コードが必要です。

## 据付工事に必要な工具（◉印はR410A専用工具）

●⊕⊖ドライバー ●巻き尺 ●ナイフ ●ペンチ
●パイプカッター ●六角棒スパナ（呼4） ●Pカッター
●φ65㎜ホールコアドリル ●真空ポンプ
●スパナ（口径14、17、19、22㎜） ●トルクレンチ
◉ポンプアダプタ ◉フレアリングツール ◉ガス漏れ検知器
◉マニホールドバルブ ◉チャージホース

## 安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った据え付け方をしていたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

……この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

……この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この据付説明書は、取扱説明書とともにお客様が保存頂くように依頼してください。

## ⚠警告

●**据付工事は、お買い上げの販売店または、専門業者に依頼する**
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。

●**据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う**
据え付けに不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。

●**据え付けは、重量に十分耐える所で確実に行う**
強度不足や取り付けが不完全な場合は、室内外機の落下により、けがの原因になります。

●**電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」、および、据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する**
電気回路容量不足や施工不備があると、感電や火災などの原因になります。

●**室内外機間の配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**
接続や固定が不完全な場合は、発熱や火災などの原因になります。

●**設置工事部品は、必ず付属部品及び指定の部品（別売部品等）を使用する**
当社指定部品を使用しないと、室内外機の落下、水漏れ、感電・火災および運転音や振動が大きくなる原因になります。

●**エアコンの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒（R410A）以外の空気などを混入させない**
空気などが混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因になります。

●**配管・フレアナットは、必ずR410A指定のものを使用する**
破裂やけがなどの原因になります。

●**作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気を行う**
冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

●**設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する**
冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

●**アース（接地）を確実に行う**
**アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しない**
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

●**冷媒回収（ポンプダウン）作業では、冷媒配管を外す前に圧縮機を停止する**
圧縮機を運転したまま、サービスバルブ開放状態で冷媒配管を外すと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧となり、破裂、ケガなどの原因になります。

●**据付け作業では、圧縮機を運転する前に、確実に冷媒配管を取付ける**
冷媒配管が取り付けられておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧となり、破裂、ケガなどの原因になります。

## ⚠注意

●**設置場所によっては漏電しゃ断器を取り付ける**
漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電の原因になります。

●**可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へは設置しない**
万一ガスが漏れて室内外機の周囲にたまると、発火の原因になります。

●**排水工事は、据付説明書に従って、確実に排水するよう配管を行う**
不確実な場合は、屋内に浸水し家財などを濡らす原因になります。

●**フレアナットはトルクレンチを使用し、指定のトルクで締め付けること**
フレアナットを締め付け過ぎると、長期経過後フレアナットが割れて冷媒漏れの原因になります。

# 据付場所の選定
（下記の点に注意し、お客さまの同意を得て据え付けてください。）

## 室内機

**⚠警告**

●本体を十分ささえられ、振動が出ない、強度のあるところに据え付ける

**⚠注意**

●近くに熱の発生がなく、吹出口付近をふさがないところ
●本体の上、下、左、右に下図の⟺印の間隔をあけられるところ
●ドレン排水が容易にでき、室外機と配管接続ができるところ
●室内機およびリモコンはテレビやラジオから1m以上離す
画像の乱れや雑音が入ることがあります。
●高周波機器、高出力の無線機器などからはできるだけ離す
エアコンが誤動作する場合があります。

## 室外機

**⚠警告**

●室外機の重量に十分耐える場所で、騒音や振動が増大しないところに据え付ける

**⚠注意**

●雨や直射日光があたりにくい風通しのよいところ
●吹き出した風が直接動物や植物にあたらないところ
●本体の上、左、右、前、後に下図の⟺印の間隔をあけられ2面以上開放できるところ
●吹き出した風や騒音がご近所のめいわくにならないところ
●可燃性ガスの漏れるおそれのないところや、蒸気や油煙などの発生しないところ
●排出されたドレン水が流れても問題のないところ
●室外機およびＦケーブルはテレビ、ラジオ、インターホン、電話などのアンテナ線や信号線、電源コードなどから1m以上離す
ノイズで影響をおよぼす場合があります。

| 番号 | 付属部品 | 員数 |
|---|---|---|
| ① | リモコン取付具 | 1 |
| ② | 乾電池（単4） | 2 |
| ③ | リモコン取付具固定ねじ | 2 |
| ④ | フレア継手断熱 | 1 |
| ⑤ | 結束バンド | 2 |
| ⑥ | 保冷用断熱材 | 1 |
| ⑦ | リモコン | 1 |
| ⑧ | 電源スイッチ固定板 | 1 |
| ⑨ | 高帯電空清フィルター | 1 |
| ⑩ | 本体固定ねじ（床面用）（4.1×32） | 2 |
| ⑪ | 本体固定ねじ（背面用）（4.0×34） | 2 |

## 電源コードの長さ

約1.0m　約1.6m

電源コードは絶対に改造しないでください。

## 配管引出し方向

配管は後直引き、右下引き、右横引きの3方向に可能です。

| 番号 | 付属部品 | 員数 |
|---|---|---|
| ⑫ | 配管穴断熱材 | 1 |
| ⑬ | ブッシュ | 2 |
| ⑭ | ドレンパイプ | 1 |

※⑬⑭は室外機に同梱

## 室内・室外機据付図（平地置台設置例）

### 室外機の固定足寸法

下図の⟺印寸法はエアコンの運転を保証するために必要な寸法です。後々のサービス、補修等を考慮してできるだけ周囲の空間が大きくとれる場所に設置してください。

すき間がないよう確実にシールしてください。

●配管の右横引きまたは後直引きを行う場合で幅木などがあり床面から高さ40mm以下に壁穴を開けられない場合は、別売の置台などを使用してください。
●室内機の下側吹き出し口を遮る段差などがある場合、その段差より下側吹き出し口が高くなるよう別売の置台などを使用してください。

配管カバー（別売）

配管長さ　最大25m

200mm以上（ベランダ天井据付けのときは50mm以上）

室外機の下側はできるだけ風が通らないようにしゃ閉すると、より暖房効果があがります。

※50mm以上
※できるだけ広くあけてください。

200mm以上

100mm以上

※200mm以上

平地置台（別売）

アース線

横引きなど屋内を通す配管は、保冷用断熱材をかぶせてください。
（保冷用断熱材が不足するときはサービスパーツ品 RAS-228FX 017 を使用してください。）

冷凍機油は水分に弱いため、サイクル内に水が入らないようにしてください。

●室内機と室外機の高低差は10m以内にしてください。
●配管は必ず細径側、太径側ともに断熱したものを使用し、表面にテープを巻いてください。テープを巻かないと、断熱材が早く劣化してしまいます。

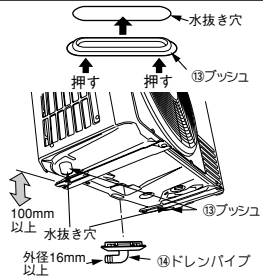
アース棒（別売）
（アース棒、アース線は付属されていません。別売品をご利用ください。）

| アース棒 | 長さ |
|---|---|
| SP-EB-1 | 450㎜ |
| SP-EB-2 | 900㎜（D種接地工事推奨品） |

振動が家屋に伝わるおそれのある場合は、室外機と据付具の間に防振ゴム（別売部品）を入れてください。

## 室外凝縮水処理

●室外機のベースには地面に凝縮水を排出するよう穴があいています。
●凝縮水を排水口などに導くときは、平地置台（別売）やブロックなどに載せ地面より100㎜以上上げて据え付け、図のようにドレンパイプを接続してください。その他の水抜き穴（2ヵ所）は、ブッシュでふさいでください。ブッシュの取付けは、図のように水抜き穴に合わせて、ブッシュの両端を押してはめ込んでください。
●ドレンパイプを接続する場合は、ブッシュがベースから浮いたり、ずれていないことを確認してください。
●室外機は水平に据え付け、凝縮水の排水を確認してください。

水抜き穴　押す　押す　⑬ブッシュ　100mm以上　水抜き穴　⑬ブッシュ　外径16mm以上　⑭ドレンパイプ

**●寒冷地等でご使用の場合**

特に寒冷地等で寒さが厳しく積雪等が多いと、熱交換器から出る水がベース表面に凍結し、排水が悪くなることがあります。このような地域では、ブッシュ、ドレンパイプは取り付けないでください。水抜き穴と地面との距離を250㎜以上確保してください。

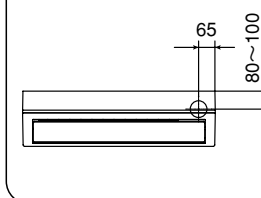
# 1 穴あけおよび保護パイプの取り付け

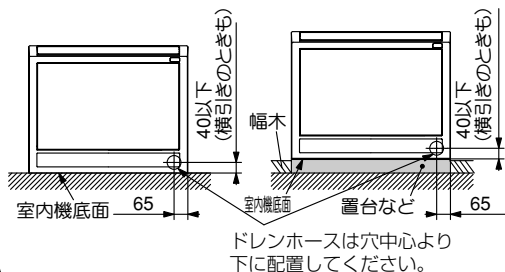
## 穴位置

●室内機を据え付ける位置を決めます。
●穴は右図の位置が標準です。(単位:mm)
●配管穴位置決め時に梱包箱を使って背面固定穴位置を出しておくと作業が効率的です。
(「3室内機の固定」を参照)

**下引きの場合**

床 穴 位 置

65
80~100

**後直引きおよび右横引きの場合**

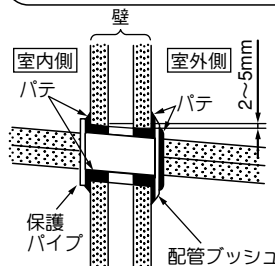
壁 穴 位 置

左図のように室内機底面から高さ40mm以下の位置に壁穴を開けてください。これより壁穴が高い場合ドレンホースの勾配がとれず水垂れの原因となります。幅木などをよけて穴位置を高くしたい場合や既設の壁穴を流用する場合は別売の置台などの台を使用して、壁穴と室内機底面の位置関係を左記のように合わせてください。

## 穴あけおよび保護パイプの取り付け

**床穴の場合**

●φ65㎜の穴をあけます。
●床下や室外の高湿空気の侵入等がないようパテ等で完全にシールします。

**壁穴の場合**

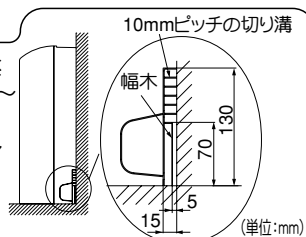
●φ65㎜の穴を外側に下がりぎみにあけます。
●保護パイプを壁の厚さに合わせ切断し壁穴に通します。
●雨水や外気の侵入等がないようパテで完全にシールして配管ブッシュを付けます。

### ⚠警告

●**保護パイプ(市販品)は必ず使用する**
接続ケーブルが壁の中のメタルラスに接触したり、壁が中空の場合、ねずみにかじられたりして感電や火災の原因となります。また、シールが完全でないと壁内や室外の高湿空気が侵入し、露たれの原因になります。

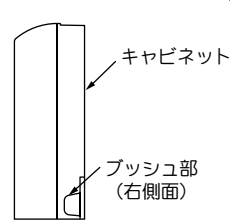
# 2 室内機据え付けの準備

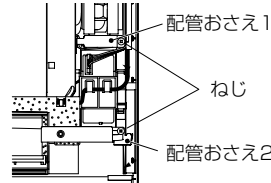
## 室内機の準備

**幅木のある場合**

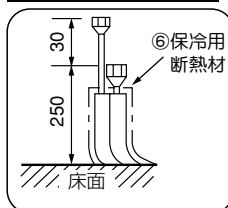
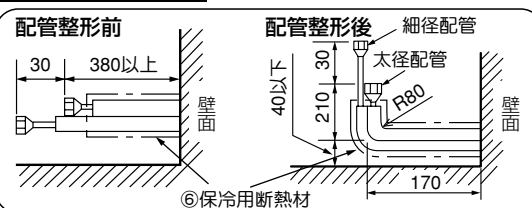
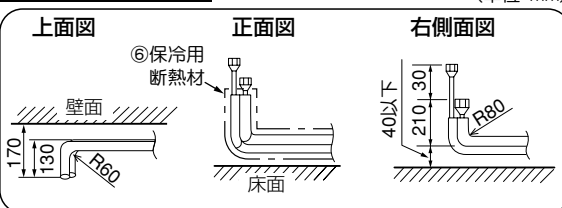
●幅木の大きさが厚さ5~15mm、高さ70~130mmの場合は、幅木に合わせて切断します。

**キャビネットブッシュ部の切断**

(右横引きの場合)

●右横引き配管時はキャビネットのブッシュ部をPカッター等で切り取り、やすりで体裁よく仕上げてください。

●フロントパネルを外してから、化粧カバーを外します。
(裏面の「化粧カバーの外しかた」を参照)
●配管おさえ1と2を外します。

配管おさえ1
ねじ
配管おさえ2

## 配管の準備

●配管は壁・または床穴を通し、室内機背面から室内機内部に引き込みます。
●配管の整形は図のようにします。
●⑥保冷用断熱材を太径配管フレアナット付近から壁穴または床穴の中まで被せておきます。
※置台を使用する場合は置台に付属の据付説明書を参照してください。

**下引きの場合**

**後直引きの場合**

**右横引きの場合**

(単位:mm)

### ⚠注意

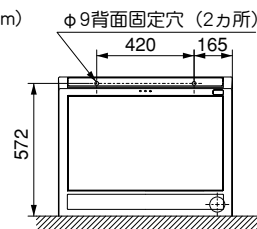
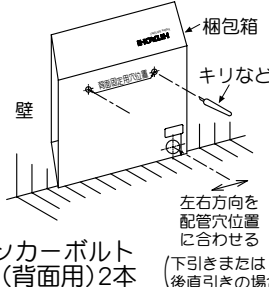
●**ポリシンを使用する場合は削り粉が入らないよう必ずフレア加工を行った後に挿入すること**
●**ドレンホースは左横引きにしない**
ドレンホースを左横引きにすると勾配がとれなくなり、水垂れの原因になります。

# 3 室内機の固定

## 本体上部の固定

### ⚠警告

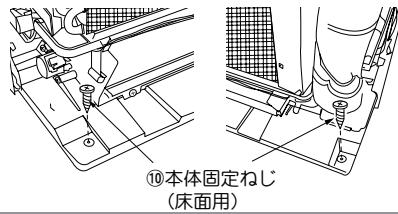
室内機と後ろの壁との間に隙間がある場合でも、針金等を使用することにより、必ず壁、天井または床に固定し、倒れ防止を施すこと

(単位:mm)

●上図の位置にφ6のアンカーボルトまたは⑪本体固定ねじ(背面用)2本を埋め込みます。
室内機を少し持ち上げて引っ掛けます。

●梱包箱に「背面固定用穴位置」(2ヵ所)と「配管穴位置」(後直引きの場合)が原寸大で示してありますので穴位置決めに使用できます。
●図のように梱包箱を折りたたんで梱包材に示す「室内機底面合わせ位置」を下にして室内機を置く面に合わせて壁にあてます。キリなどを使って背面穴位置を壁にマーキングします。下引きまたは後直引きの場合は左右方向を配管穴位置に合わせて行います。

※置台を使用する場合は置台に付属の据付説明書を参照してください。

室内機

## 本体床面への固定

●室内機の底面左右2カ所を⑩の本体固定ねじ（床面用）で固定します。

**室内機の転倒防止の為、必ず本体固定ねじ（床面用）を取り付けること**

# 4 室内機の据え付け

（単位：mm）

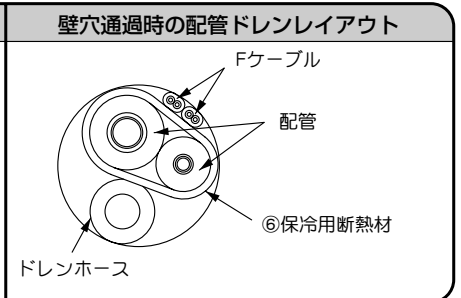
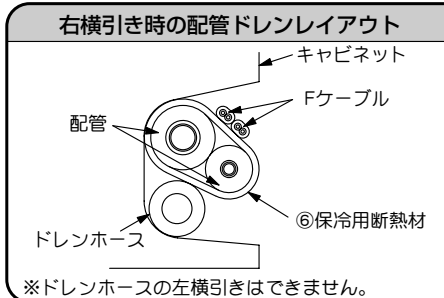
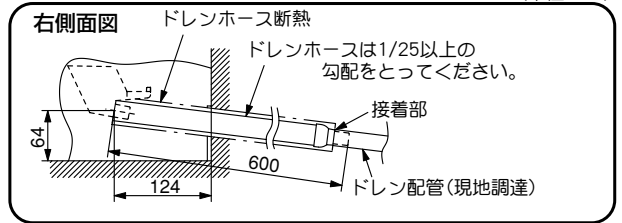
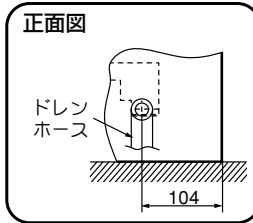
## ドレン配管工事

●ドレン配管は排水が途中で溜らず確実に流れるよう、下り勾配を付けてください。
特に右横引き、後直引きの場合は、右下の図のように必ずドレンホースが下側になるようにして下り勾配を付けてください。
●室内機にドレンホース（接続口外径16mm長さ600mm）を付属していますので、右図の位置までドレン配管を準備してください。
●屋内部のドレン配管は結露防止のため、肉厚10mm以上の断熱材で覆い断熱の強化をしてください。

右横引き時の配管ドレンレイアウト

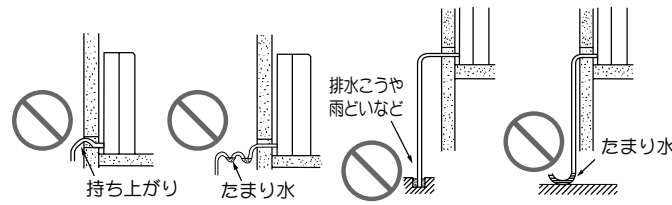
キャビネット
Fケーブル
配管
⑥保冷用断熱材
ドレンホース

※ドレンホースの左横引きはできません。

壁穴通過時の配管ドレンレイアウト

## 排水の確認

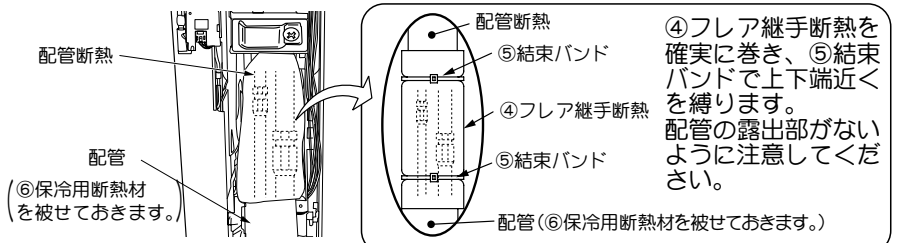
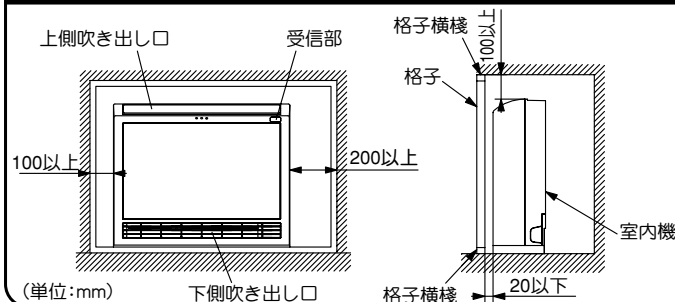
**室内機のドレン配管工事終了後、水を流して確実に排水されることを確認してください。（確認を怠ると水垂れの恐れがあります。）**

### ⚠注意

**●ドレン工事は、確実に排水できるように配管し、必ず排水の確認を行う**
確認を怠ると、水垂れとなることがあります。
**●右図のような不具合がないことを確認する**
ドレン詰まりをおこし、水垂れとなります。
**●ドレンホースは1/25以上の勾配をとること**
**●ドレンホースは左横引きにしない**
ドレンホースを左横引きにすると勾配がとれなくなり、水垂れの原因となります。

**ドレン配管工事後ドレンホースの抜けやたるみのないことを確認してください。**

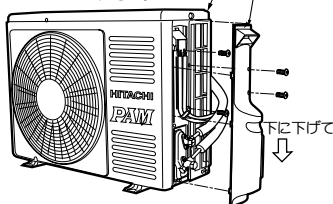
## 配管の接続

●冷媒配管を接続します。（裏面の配管の接続を参照）
●配管接続後、図の配管断熱を⑥保冷用断熱材の上から配管に被せます。その上から④フレア継手断熱を巻き、⑤結束バンド（2本）で固定します。

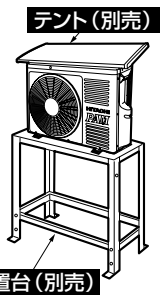
④フレア継手断熱を確実に巻き、⑤結束バンドで上下端近くを縛ります。
配管の露出部がないように注意してください。

## ビルトイン据え付け

●格子をつける場合、上下の横桟は上下吹き出し口の風が当たらないように、できるだけ幅を狭くしてください。横桟が下側吹き出し口を遮る恐れのある場合は、置台などを使って高さを調節してください。上側吹き出し口、下側吹き出し口が塞がれますと室温調節が良く行われなくなることがあります。
●上側吹き出し口の上下風向板はあまり上向きにしますと、格子内部に熱がこもり、室温調節が良く行われなくなる場合がありますので、水平に近い角度でご使用ください。
●受信部が格子の陰になりますと、リモコンからの送信を受け付ける距離や範囲（角度）が狭くなりますので、塞がらないようにしてください。
●格子は縦格子をおすすめします。開口率は75%以上のものを使用してください。横格子や開口率75%未満のものを使用すると、性能低下の原因となります。
●ビルトイン据え付けの場合、エアコンを運転してから設定温度に達するまでの時間が遅くなります。

## 室外機

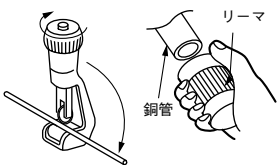
●振動や騒音が増大しないように、しっかりした場所に設置してください。
●配管類を、おおよそ整形して位置を決めてください。
●側面カバーは取っ手を持ち、下方へずらして端部のフックをはずしてから引いてください。取り付けるときは、逆の手順で行います。

### ⚠注意

**●室外機の吸い込み口や底面、アルミフィンにさわらない**
ケガの原因になります。

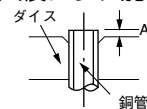
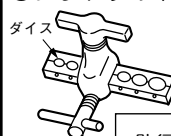
**暖房効果を良くするために、雪の多い地方では風通しを妨げないように、別売の風雪ガードや高置台を設けてください。**
**その他の地方では、日除けとして別売のテントの取り付けをおすすめします。**

# 配管の接続・エアパージ

## 1 配管の切断とフレア加工

●パイプカッターで切断しバリ取りを行います。

リーマ
銅管

### ⚠注意

**●バリ取りをする**
バリ取りをしないとガス漏れの原因になります。
**●切粉が銅管内に入らないように、バリ取り時には銅管を下向きにする**

●フレアナット挿入後フレア加工をしてください。

※R410A用専用工具の使用を推奨します。

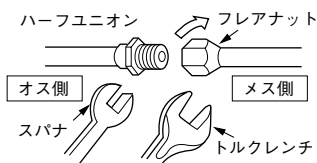
| 外径（φ） | A（mm）〔リジット〕 | |
|---|---|---|
| | R410A用専用工具の場合 | R22用専用工具の場合 |
| 6.35(1/4インチ) | 0〜0.5 | 1.0 |
| 9.52(3/8インチ) | 0〜0.5 | 1.0 |

## 2 配管の接続

### ⚠注意

**●室内機の配管のフレアナットを外す場合は、細径側パイプを先に外す**
太径側から外すとフレア部のシールキャップが飛ぶことがあります。
**●接続時は水分が入らないようにする**
**●フレアナットは必ずトルクレンチを使用し、指定の締め付けトルクで締め付ける**
フレアナットを締め付け過ぎると長期経過後、フレアナットが割れて冷媒漏れの原因になります。

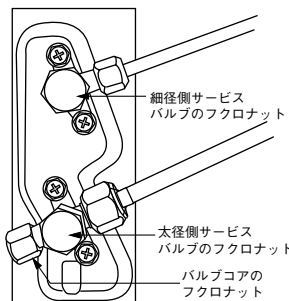
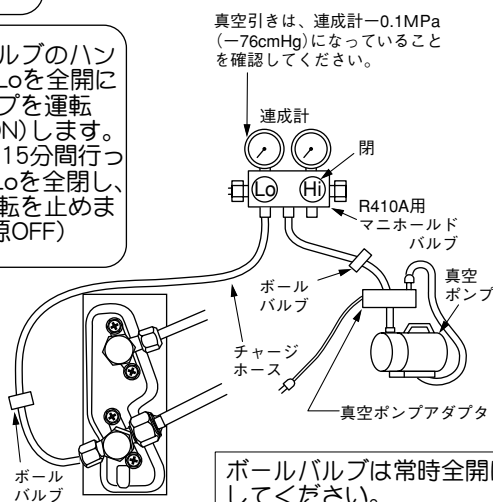
●曲げ加工は配管をつぶさないようにしてください。
●接続部に冷凍機油を塗り、中心を合わせフレアナットを手で十分締め付けた後、トルクレンチ（スパナ）で確実に締め付けます。

ハーフユニオン　フレアナット
オス側　メス側
スパナ　トルクレンチ

※締め付けトルクは右表に従ってください。

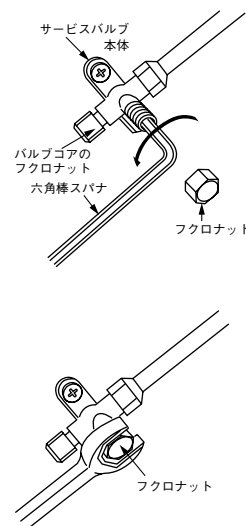
| | | パイプ外径(φ) | トルクN•m{kgf•cm} |
|---|---|---|---|
| 細径側 | | 6.35 (1/4インチ) | 13.7〜18.6{140〜190} |
| 太径側 | | 9.52 (3/8インチ) | 34.3〜44.1{350〜450} |
| フクロナット | 細径側 | 6.35 (1/4インチ) | 19.6〜24.5{200〜250} |
| フクロナット | 太径側 | 9.52 (3/8インチ) | 19.6〜24.5{200〜250} |
| バルブコアのフクロナット | | | 12.3〜15.7{125〜160} |

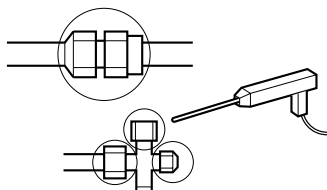
## 3 エアパージおよびガス漏れ検査

**地球環境保護の立場から、エアパージは真空引きポンプ方式でお願いします。**

❶
●サービスバルブのフクロナットをはずします。
●バルブコアのフクロナットをはずし、チャージホースを接続します。
●真空ポンプにポンプアダプタを接続し、アダプタにチャージホースを接続します。

❷
●マニホールドバルブのハンドルHiを閉じ、Loを全開にして、真空ポンプを運転（アダプタ電源ON）します。
●真空引きを10〜15分間行った後、ハンドルLoを全閉し、真空ポンプの運転を止めます。（アダプタ電源OFF）

ボールバルブは常時全開にしてください。

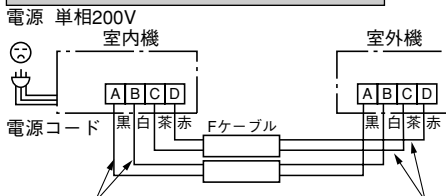
❸
●細径サービスバルブのスピンドルを1/4回転ゆるめ、5〜6秒後すばやく締めます。
●サービスバルブのチャージホースをはずします。

❹
●両方のサービスバルブのスピンドルを反時計方向に軽く当るまで回し、冷媒通路を開けます。
（力いっぱい回す必要はありません。）
●フクロナットを元通り締め付けます。
●最後に、ガス漏れ検査を行い、ガス漏れがないことを確認してください。

### ガス漏れ検査

右図の部分をガス漏れ検知器を使用してフレアナット接続部から冷媒漏れがないことを確認します。漏れのある場合は、増締めするなどして、防止してください。（R410A用検知器をご使用ください。）

### 移設時または、取り外し時の作業方法について

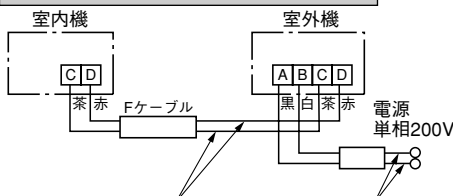
地球環境保護の立場から、移設時または取外し時には冷媒の回収（ポンプダウン）を行ってください。
①強制冷房運転（仕上げの項参照）で5分間程度の予備運転を行います。
②細径サービスバルブのスピンドルを時計回りに回して閉めます。
③そのまま強制冷房運転を1〜2分間行った後、太径サービスバルブのスピンドルを時計回りに回して閉めます。
④強制冷房運転を停止します。

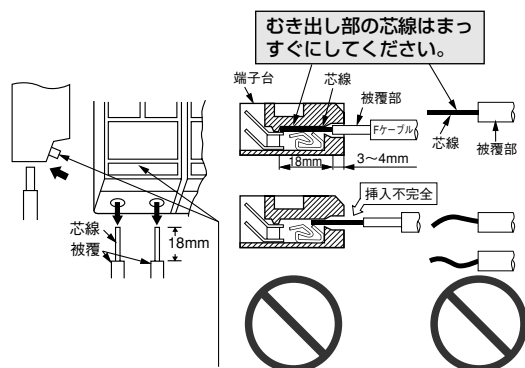
# Fケーブルの接続方法

## 室内機から電源を取る場合

電源回路
直径2㎜の単線を必ず使用してください。

信号回路
直径1.6または2㎜の単線を必ず使用してください。

室内機から電源を取る場合も、室外機から電源を取る場合も、電源は単相200Vを使用してください。

## 室外機から電源を取る場合

信号回路
直径1.6または2㎜の単線を必ず使用してください。

電源回路
直径2㎜の単線を必ず使用してください。

Ｆケーブルを外すときはこの部分を矢印の方向に押しながらＦケーブルを引いてください。

## ⚠ 警告

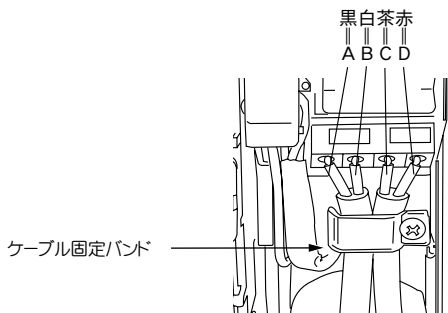
- **Ｆケーブルは、必ず単線を使用する**
  より線を使用しますと、端子台が焼損することがあります。
- **Ｆケーブルを途中で接続しない**
  接続部が過熱し、発煙・発火することがあります。
- **Ｆケーブルの芯線は18㎜(最小でも17㎜､最大でも21㎜)むき出し､被覆が3～4㎜かくれるまで確実に押し込み、各々の線を引っ張って抜けないことを確認する**
  挿入が不十分ですと端子台が焼損することがあります。また､むき出し寸法が17㎜以下ですと接触不足により､端子台が焼損することがあります。
- **Ｆケーブルの芯線は先端を合わせ、まっすぐにする**
- **分岐回路はエアコン専用の回路にする**
- **Ｆケーブルの取付工事は｢電気設備に関する技術基準｣に従って行う**
- **コンセントは必ず抜いて作業を行う**
  室内機から電源を取る場合、電源スイッチが入っていると､Ｆケーブルの AB 端子間には常時200Vが印加されています。
- **室外機から電源を取る場合、室内機の電源スイッチを｢切｣にしても、電源はOFFされないため、そのときはブレーカーを切る**

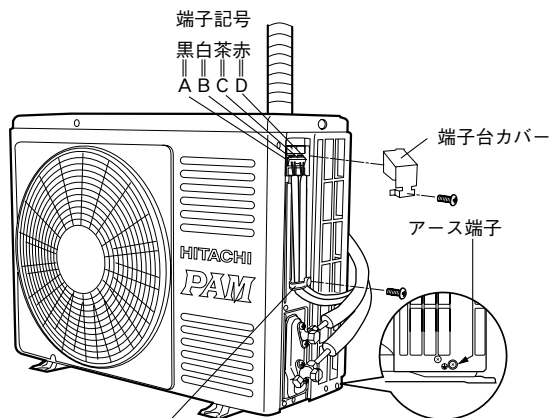
先端を合わせ、まっすぐにしてください。
18㎜
35㎜
Fケーブル

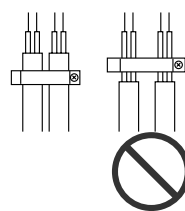
## 室内機への接続方法

●Ｆケーブルを端子台に接続します。
●接続後、ケーブル固定バンドでケーブルを固定してください。

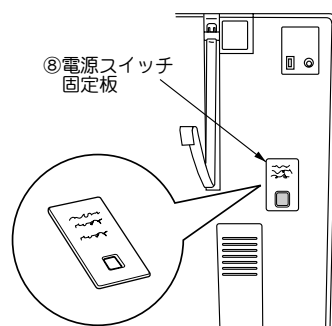
## ⚠ 警告

- **Ｆケーブルはサービス時の作業性を考慮して余裕を持たせて、必ずケーブル固定バンドで止める**
- **ケーブル固定バンドで止めるときは、Ｆケーブルの外側の被覆部の上から確実に止め、接続部に外力が加わらないようにする**
  Ｆケーブルの接続部に外力が加わると、発熱や火災などの原因になります。

## 室外機への接続方法

●側面カバー・端子台カバーをはずして行います。

## ⚠ 警告

- **必ずバンドで固定する**
  固定しないと雨水が電気品に入り感電の原因となります。

## 室外機から電源を取る場合

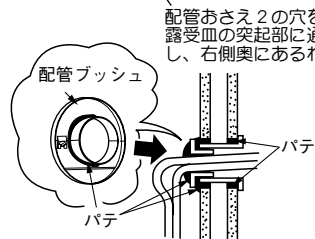
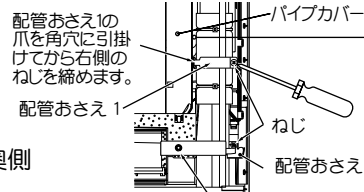
●電源スイッチでは電源をOFFできません。スイッチを｢切｣の状態にし、⑧電源スイッチ固定板を貼り付け、動かないようにしてください。
●電源コードは不要ですので、据付時に室内機背面の下部スペースに納めてください。なお、移設などで電源プラグを再使用するときに、ホコリの付着や汚れなどを防ぐため、据え付け部材のネジを収納しているビニール袋などで電源プラグを包み、テープ止めしたうえで収納してください。
●室内機ＡＢ端子は接続不要です。

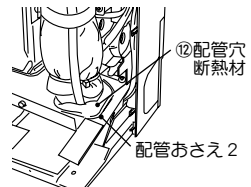
仕上げ

## 1 配管の断熱と仕上げ

●配管とFケーブル接続後、右図のように配管おさえ1と2をねじ止めし、配管とFケーブルを固定します。
●配管おさえ2は、配管を固定する他にねずみ等の室内機への侵入を防止する役割がありますので、必ず取り付けてください。
●配管おさえ2と配管の間の隙間を埋めるように、⑫配管穴断熱材を押し込んでください。
●配管の接続部は化粧カバーとの当たり防止のため、できるだけ奥側に押し込むように整形してください。
●室内・室外機据付図のように配管・Fケーブル等をテープ巻きし、壁に固定します。
●ドレンホースや配管が押入れや廊下など屋内を通る場合は、露付き防止のため保冷用断熱材(不足するときはサービスパーツ品 部品番号：RAS-228FX 017)で覆い、断熱の強化をしてください。
●壁穴部と、配管ブッシュ・配管のすき間を〔配管カバー(市販品)を使用した場合も〕パテにて完全にシールしてください。シールが完全でないと、壁内や室外の高湿空気が侵入し、露たれの原因になります。
●高帯電空清フィルターの取り付けかたについては、取扱説明書のP.9をごらんください。
●仕上げが完成しましたら、化粧カバーを取り付けてください。(「化粧カバーの取り付けかた」を参照)

配管おさえ1の爪を角穴に引掛けてから右側のねじを締めます。

パイプカバー
配管おさえ 1
ねじ
配管おさえ 2

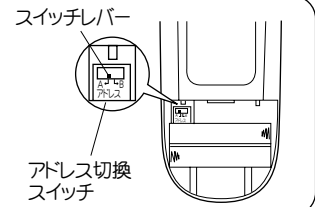
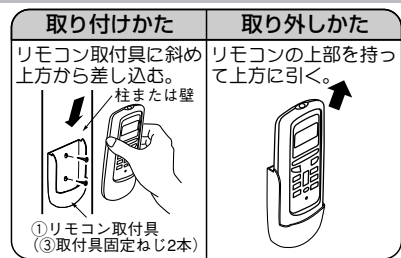
配管おさえ２の穴を露受皿の突起部に通し、右側奥にあるねじを締めます。

**⚠注意**

**フレア継手断熱と左隣りのパイプカバーとのすきまを開けること。すきまがないと露垂れの原因になります。**

## 2 リモコンの固定

●リモコンはリモコン取付具で壁や柱に固定することができます。
●リモコンを固定したまま、エアコンを操作するときは信号がエアコンに確実に受信されることを確認してください。なお、蛍光灯により影響され信号が受信されなくなることがありますので、昼間でも点灯して確認してください。

| 取り付けかた | 取り外しかた |
|---|---|
| リモコン取付具に斜め上方から差し込む。 | リモコンの上部を持って上方に引く。 |

### アドレス切換スイッチについて

2台の室内機を同じ部屋に据付けたときなど、リモコンの混信を防ぎたいときに使用します。
アドレス切換スイッチは、リモコンの電池ふたを外したところにあります。
(出荷時は「A」側に設定されています。)
●アドレス設定(混信防止)の方法
2台の室内機のうち、1台について設定を行います。(もう一方の室内機は電源を切ります。)
①リモコンに乾電池を入れ、リセットスイッチを押します。
(取扱説明書P.8を参照してください。)
②リモコンの送信部を室内機に向けた状態で、アドレス切換スイッチのスイッチレバーを「B」側に動かします。
③「ピッ」という受信音がして、設定が終了します。
●アドレス設定後、リモコン操作をして動作することを確認してください。動作しない場合は、スイッチレバーを「A」側に戻し、再度設定操作を行ってください。

## 3 アースと漏電しゃ断器

**⚠警告**

**●必ずD種接地工事および、漏電しゃ断器設置工事を行う**
設置場所によっては、万一漏電したときの感電防止のために法律で定められたD種接地工事と漏電しゃ断器の設置が義務づけられています。
(アース工事は、必ずアース付きタンデムコンセントを調達のうえ、アース工事を行ってください。)
現地の事情等により、アース付きタンデムコンセントによるアース工事ができない場合は、D種接地工事に適合したアース棒を使用して「電気設備に関する技術基準」に従って行ってください。アース端子は室外機のベース側面(サービスバルブ側)に付いています。アースをしますと感電防止のほかに製品に触れたときに感じる静電気の障害や、リモコン操作時にテレビ、ラジオに入る雑音を防ぐ効果もあります。
**●アース線は、次のようなところに接続しない**
**(1)水道管 (2)ガス管…引火や爆発の危険があります。**
**(3)避雷針、電話のアース線…落雷のとき大きな電流が流れ危険です。**

## 4 電源と試運転およびチェック

### 電源

**⚠警告**

**●電源プラグの改造や電源コードの延長は、絶対にしない**
**●電源コードはゆとりをもたせ、電源プラグに力がかからないようにする**
**●電源コードはステップルなどで固定しない**
**●電源コードは熱を発生しやすいため、針金やビニタイなどでまとめない**

**⚠注意**

**●コンセントは新しいものを使用する**
古いと電気的接触が不十分で思わぬ事故につながる場合があります。
**●電源プラグを差込むときは２～３回抜き差しを行い、なじませてから完全に差し込む**

### 試運転

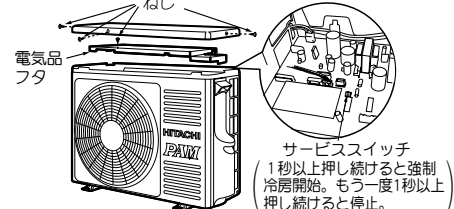
●試運転を行いエアコンが正常に運転することを確認してください。
●取扱説明書の手順で操作について「お客様」に説明してください。
●室内機が動かない場合は、Fケーブルの誤接続がないか確認してください。

### 据え付けチェック

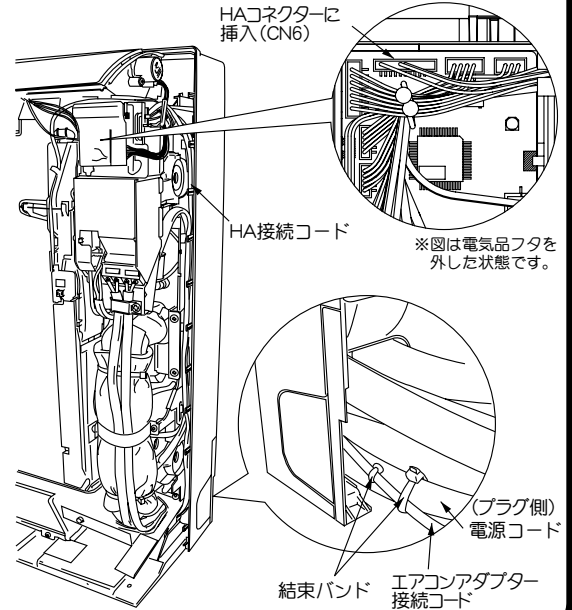
●右下の「ルームエアコン据付点検カード」によりチェックします。

### 強制冷房運転

故障診断や、室外機に冷媒を回収するときに使用してください。
●一度電源を切り、再度電源を入れて1分以上待ってからサービススイッチを1秒以上押してください。
●サービススイッチでの作業が終了したら、必ずスイッチを1秒以上押し続けて、強制冷房運転を止めてください。

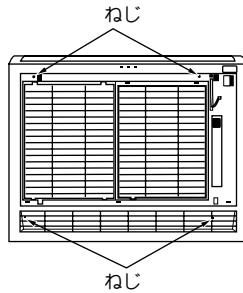
**⚠注意**

**●サービスバルブのスピンドルを閉めた状態で５分以上運転しない**

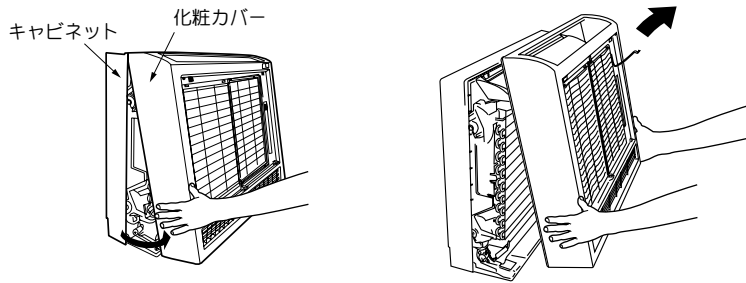
# HAシステムと接続するとき

●別売のHA接続コード(サービスパーツ)部品番号(RAS-2810RX 100)が必要です。
●化粧カバー、電気品フタを外し、上記のHA接続コードに付属の作業要領書に従い、配線を接続します。
●右図のように、エアコンアダプター接続コードをはわせ、電源コードに結束バンドで縛ります。
●詳しくはHA機器に付属の取付説明書と合わせて、よくお読みください。
●化粧カバーの外しかた・取り付けかたを本説明書で確認してください。

## 化粧カバーの外しかた

1 フロントパネルを取り外します。(取扱説明書P.9を参照してください。)

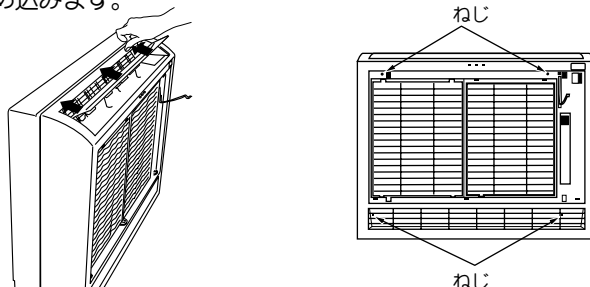
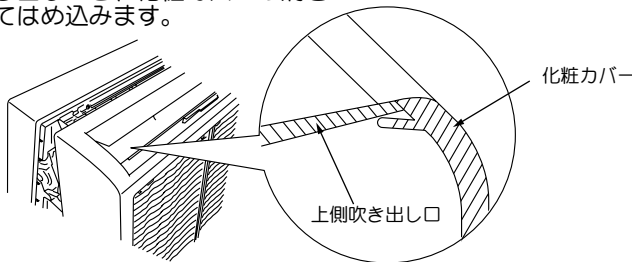
**●フロントパネルの着脱は、必ず両手で行ってください。**

2 化粧カバーのねじ4本を外します。

3 化粧カバーの下部を、両側面から押さえ手前に引き開きます。

4 化粧カバーを、上に持ち上げるようにして外します。

## 化粧カバーの取り付けかた

❶上側吹き出し口と、化粧カバーの溝を合わせてはめ込みます。

❷化粧カバー上面の爪(3カ所)をカチッと音がするまで押して、確実にはめ込みます。

❸化粧カバーのねじ4本を締めます。

❹フロントパネルを取り付けます。(取扱説明書P.9を参照)

キ…リ…ト…リ

| お客様氏名 | 様 | | |
|---|---|---|---|
| (電話番号) | (　　) | | |
| お客様住所 | | | |
| 機　種　名 | | 製　造 番　号 | |
| 据付年月日 | | 据　付 担当者 | |

### ルームエアコン据付点検カード

(点検済みの項目の□の中に✓印を記入してください。)

- □ 配管はR410A用を使用しましたか
- □ 輸送部品は、外しましたか
- □ 配管接続部のガス漏れはありませんか
- □ 接続ケーブルの接続は正しく確実ですか
- □ 除湿水は漏れずに、よく排水しますか　また、露受皿に除湿水がたまらないような傾斜で据え付けられていますか
- □ 配管接続部の断熱はしましたか
- □ 据付強度はじゅうぶんですか
- □ 化粧カバー(化粧パネル・ルーバー)は確実に取り付けてあり、落下の危険はありませんか
- □ アースは正しくしてありますか
- □ 壁穴に保護パイプをつけましたか
- □ 壁穴部のシールは確実にしましたか
- □ 試運転をしましたか
- □ 取扱説明書の表紙に記載された形式名のうちの、据え付けた形式名の前に○印を付けましたか
  (取扱説明書が2機種以上の共用になっている場合)
- □ お客様に正しい取り扱い方と、運転のしかたを説明しましたか

### サービス記録

| 年 月 日 | サービス内容 | サービス担当者 |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |

キリトリ線から切りはなし、据付時の点検、サービスの記録として、お店で保管、ご使用ください。